

農001	項目名	新規就農推進事業費	新規事業																				
予算書項目	次代の農業を担う若者育成対策事業費	ページ	231																				
年度	R8	所属名 農林水産部 農政企画課																					
会計名	事業の概要																						
一般会計	【問合せ先】担い手支援係 0857-30-8305																						
款 農林水産業費	【1 2次総の施策体系】3104																						
項 農業費	【事業の経過及び背景】 農業者等の高齢化、減少等の問題に対応するため、県内外から就農意欲の高い若者を呼び込み、新規就農者の育成確保や円滑な就農定住を促進するための支援を行う。また、農業後継者については、地域農業の担い手として位置付けられる農業経営主が、将来その経営を移譲する親族（子）に対して農業技術や経営ノウハウ等を習得させるための研修を実施する際に支援を行う。																						
目 農業総務費	【事業の目的及び効果】 農業研修生や農業後継者の確保及び円滑な就農のための支援。																						
(単位:千円)	【事業の内容】 (1) とっとり農業体験事業 1人 2,400千円 (2) 親元就農促進支援交付金 3人 2,700千円																						
前年度当初予算額 19,615	【事業の実績】 令和5年度 8,752千円 親元就農研修2人、農業体験者なし 令和6年度 16,605千円 親元就農研修2人、農業体験者4人 令和7年度 19,615千円(見込み) 親元就農研修3人、農業体験者4人																						
本年度要求額 20,024	【事業の内訳】																						
総務部長段階査定額 12,526	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">其他財源の内訳</th> </tr> <tr> <td>分担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>負担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>使用料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>手数料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>財産収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>寄付金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>繰入金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>諸収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> </table>			其他財源の内訳		分担金	0	負担金	0	使用料	0	手数料	0	財産収入	0	寄付金	0	繰入金	0	諸収入	0	その他	0
其他財源の内訳																							
分担金	0																						
負担金	0																						
使用料	0																						
手数料	0																						
財産収入	0																						
寄付金	0																						
繰入金	0																						
諸収入	0																						
その他	0																						
市長段階査定額 12,526	<table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>本年度予算額</th> </tr> <tr> <td>国・県支出金</td> <td>1,800</td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>10,726</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>12,526</td> </tr> </table>			区分	本年度予算額	国・県支出金	1,800	地方債	0	その他	0	一般財源	10,726	計	12,526								
区分	本年度予算額																						
国・県支出金	1,800																						
地方債	0																						
その他	0																						
一般財源	10,726																						
計	12,526																						
備考欄																							

農002	項目名	新規就農営農支援事業費	新規事業																				
予算書項目	次代の農業を担う若者育成対策事業費	ページ	231																				
年度	R8	所属名 農林水産部 農政企画課																					
会計名	事業の概要																						
一般会計	【問合せ先】担い手支援係 0857-30-8305																						
款 農林水産業費	【1 2次総の施策体系】3104																						
項 農業費	【事業の経過及び背景】 新規就農者の定着を図るため、経営が不安定な就農初期の支援策として経営開始資金等の交付や就農時の負担軽減のための農地賃借料助成、機械施設導入に係る経費助成を行う。																						
目 農業総務費	【事業の目的及び効果】 新規就農した青年等の就農初期の経営を支援することで、就農時の負担軽減を図るとともに、安定経営につなげる。																						
(単位:千円)	【事業の内容】 (1) 経営開始資金 6人(国10/10) 9,750千円 (2) 農地賃借料助成金 4人 518千円 (3) 経営発展支援事業 2人(県1/4・国1/2) 7,494千円 (4) 就農条件整備事業 8人(県1/3・市1/6) 29,573千円 (5) 就農応援交付金 2人(県1/3・市1/6) 1,800千円 (6) 新規就農倉住居家賃助成事業 4人(10/10) 802千円 (7) 推進事務費(人件費含む) 3,811千円																						
前年度当初予算額 11,101	【事業の実績】 令和5年度 10,106千円 令和6年度 11,958千円 令和7年度(見込み) 11,101千円																						
本年度要求額 53,804	【事業の内訳】																						
総務部長段階査定額 53,804	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">其他財源の内訳</th> </tr> <tr> <td>分担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>負担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>使用料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>手数料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>財産収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>寄付金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>繰入金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>諸収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> </table>			其他財源の内訳		分担金	0	負担金	0	使用料	0	手数料	0	財産収入	0	寄付金	0	繰入金	0	諸収入	0	その他	0
其他財源の内訳																							
分担金	0																						
負担金	0																						
使用料	0																						
手数料	0																						
財産収入	0																						
寄付金	0																						
繰入金	0																						
諸収入	0																						
その他	0																						
市長段階査定額 53,804	<table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>本年度予算額</th> </tr> <tr> <td>国・県支出金</td> <td>39,601</td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>14,203</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>53,804</td> </tr> </table>			区分	本年度予算額	国・県支出金	39,601	地方債	0	その他	0	一般財源	14,203	計	53,804								
区分	本年度予算額																						
国・県支出金	39,601																						
地方債	0																						
その他	0																						
一般財源	14,203																						
計	53,804																						
備考欄																							

農003	項目名	果樹振興対策事業費	新規事業
予算書項目	園芸産地づくり事業費	ページ	231
年度	R8	所属名 農林水産部 農政企画課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】生産振興係 0857-30-8304		
款 農林水産業費	【12次総の施策体系】3104		
項 農業費	【事業の経過及び背景】 本市の果樹栽培は、近年、生産者の高齢化、後継者不足、販売価格の低迷等により、生産者数、栽培面積、生産量ともに減少を続けている。		
目 農業振興費	【事業の目的及び効果】 果樹の生産から出荷、販売に際して支援していくことで、果樹生産の総合的な振興を図り、消費拡大、生産者の意欲向上を図る。		
(単位:千円)	【事業の内容】		
前年度当初予算額	26,311	(1) 鳥取梨生産振興事業 [県間接] (新甘泉、二十世紀、王秋ほか、低コスト・体制強化) ・新植、かん水施設、果樹棚、防除用機械、大苗育成委託、乗用草刈機(モア) 17,880千円(補助率:県1/3~3/4) ・育成促進対策 180千円(補助率:200千円/10a、県1/2・市1/2)	
本年度要求額	38,243	(2) 鳥取柿ぶどう等生産振興事業 [県間接] (柿・ぶどう) ・新植、果樹棚、かん水施設、排水施設、防蟻灯、ハウス 13,288千円(補助率:県1/3~2/3) ・育成促進対策(ぶどう) 470千円(補助率:94千円/10a、県1/2・市1/2)	
総務部長段階査定額	38,243	(3) 戦略的スーパー園芸団地整備事業 [県間接] (梨) ・新植 6,375千円(補助率:県3/4)	
市長段階査定額	38,243	【事業の実績】 令和5年度 11,544千円 令和6年度 11,264千円 令和7年度 17,487千円(見込み)	
区分	本年度予算額	【事業の内訳】	
財源内訳	国・県支出金 37,868	分担金 0	
	地方債 0	負担金 0	
	その他 0	使用料 0	
	一般財源 375	手数料 0	
計	38,243	財産収入 0	
		寄付金 0	
		繰入金 0	
		諸収入 0	
		その他 0	
備考欄			

農004	項目名	学校や地域と連携した地産地消率向上支援事業費	新規事業
予算書項目	地産地消推進事業費	ページ	231
年度	R8	所属名 農林水産部 農政企画課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】生産振興係 0857-30-8304		
款 農林水産業費	【12次総の施策体系】3104		
項 農業費	【事業の経過及び背景】 地産地消行動実施計画に基づき、学校や福祉施設等で提供される給食への県産食材使用率の維持・向上につながる取組が必要である。		
目 農業振興費	【事業の目的及び効果】 市町村等が行う県産食材供給の仕組み作りや地域の食文化継承につながる活動等を支援することにより、学校や福祉施設等で提供される給食への県産食材使用率の維持・向上を図ることを目的とする。		
(単位:千円)	【事業の内容】		
前年度当初予算額	0	(1) 事業推進計画の策定、供給組織の代表者、学校等受給施設、市町村、県等の関係者で構成する推進会議の開催	
本年度要求額	6,000	(2) 地域の食文化継承につながる取組	
総務部長段階査定額	6,000	【事業の実績】 令和7年度(見込み) 124千円	
市長段階査定額	6,000		
区分	本年度予算額	【事業の内訳】	
財源内訳	国・県支出金 6,000	分担金 0	
	地方債 0	負担金 0	
	その他 0	使用料 0	
	一般財源 0	手数料 0	
計	6,000	財産収入 0	
		寄付金 0	
		繰入金 0	
		諸収入 0	
		その他 0	
備考欄			

農005	項目名	次世代農業推進事業費	新規事業
予算書項目	次世代農業推進事業費	ページ	231
年度	R8	所属名 農林水産部 農政企画課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】生産振興係 0857-30-8304		
款 農林水産業費	【12次総の施策体系】3104		
項 農業費	【事業の経過及び背景】 農家の高齢化により担い手不足や耕作放棄地の増加等、一次産業の衰退が懸念される中、スマート農業の導入による省力化・効率化による高収益な農業経営が求められている。		
目 農業振興費	【事業の目的及び効果】 本市農業が抱える課題が多くある中、先進的な農業生産技術やICTを活用した新技術の導入による作業の効率化・軽減化、また、本市の自然エネルギーの農業への活用研究などに取り組むことで、新たな農業の担い手の確保につなげるとともに、本市の農業の振興を図る。		
(単位:千円)	【事業の内容】 (1) JGAP普及業務 1,235千円 (2) 農林水産業未活用資源の有効活用実証(R8・R9) 2,000千円		
前年度当初予算額	1,430	【事業の実績】 令和5年度 1,986千円 令和6年度 965千円 令和7年度 1,430千円	
本年度要求額	3,400		
総務部長段階査定額	3,235	【事業の内訳】	
市長段階査定額	3,235	分担金 0 負担金 0 使用料 0 手数料 0 財産収入 0 寄付金 0 繰入金 0 諸収入 0 その他 0	
区分	本年度予算額		
財源内訳	国・県支出金	1,617	
	地方債	0	
	その他	0	
	一般財源	1,618	
	計	3,235	
備考欄			

農006	項目名	鳥取市農業生産拡大に向けたスマート農業推進事業費	新規事業
予算書項目	次世代農業推進事業費	ページ	231
年度	R8	所属名 農林水産部 農政企画課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】担い手支援係 0857-30-8305		
款 農林水産業費	【12次総の施策体系】3104		
項 農業費	【事業の経過及び背景】 農家の高齢化等による担い手の減少や耕作放棄地の増加が進んでおり、持続可能な農業を実現するための方策として、省力化技術の開発・導入が課題となっている。		
目 農業振興費	【事業の目的及び効果】 農作業の負担軽減や技術伝承に資する農業機械・設備(スマート農機)や、パソコン、タブレット等の電子機器で作業管理や環境を測定する生産管理システム等の導入を行う農業者を支援することで、スマート農業を普及拡大させ本市の農業振興を図る。		
(単位:千円)	【事業の内容】 作業及び農業経営の効率化を図るためのICTやロボット技術を活用した機械及び設備の導入経費等に対する補助金 補助率:1/2(県:1/3、市:1/6) 補助上限額・個人:4,500千円 ・法人等:10,500千円 ※共同利用の上限額は2倍		
前年度当初予算額	13,350	・実施内容 鳥取(1件)直進アシスト付コンバイン	
本年度要求額	18,860	【事業の実績】 令和5年度 21,223千円 令和6年度 8,612千円 令和7年度 6,727千円	
総務部長段階査定額	7,398	※その他財源の繰入金は、ふるさと納税基金繰入金	
市長段階査定額	7,398	【事業の内訳】 分担金 0 負担金 0 使用料 0 手数料 0 財産収入 0 寄付金 0 繰入金 2,467 諸収入 0 その他 0	
区分	本年度予算額		
財源内訳	国・県支出金	4,931	
	地方債	0	
	その他	2,467	
	一般財源	0	
	計	7,398	
備考欄			

農007	項目名	主要園芸品目生産振興事業費	新規事業
予算書項目	園芸品目振興事業費	ページ	233
年度	R8	所属名 農林水産部 農政企画課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】生産振興係 0857-30-8304		
款 農林水産業費	【12次総の施策体系】3104		
項 農業費	【事業の経過及び背景】 特に気象災害や資材等高騰の影響を受けやすい白ねぎ・ブロッコリー・らっきょうを中心とした主要園芸品目において、総合的に支援することでさらなる生産振興及び産地の強化や特産物の育成を図る必要がある。		
目 農業振興費	【事業の目的及び効果】 10億円品目中心に農業生産額上昇を目指す。		
(単位:千円)	【事業の内容】		
前年度当初予算額	1,050	(1) 産地発展成長(一般) 3事業者(JA) かん水設備(レインガン)の導入 (県1/3、市1/6) 338千円 2条雨よけハウスの改良 (県1/3、市1/6) 2,256千円	
本年度要求額	9,061	(2) 産地規模拡大(一般) 10事業者(法人、農業者) 機械導入(皮むき機、肥料散布機等) (県1/3、市1/6) 3,364千円	
総務部長段階査定額	6,773	(3) 革新的技術導入実証 1事業者(法人) 機械導入(白ねぎ収穫機) (県1/2) 815千円	
市長段階査定額	6,773	【事業の実績】	
区分	本年度予算額	令和5年度 1,313千円 令和6年度 8,299千円 令和7年度 3,153千円(見込み)	
財源内訳	国・県支出金 4,515	※県事業の組替えにより事業名変更(旧:園芸産地活力増進事業)	
	地方債 0		
	その他 0		
	一般財源 2,258		
	計 6,773		
備考欄			

農008	項目名	新たな園芸品目育成事業費	新規事業
予算書項目	園芸品目振興事業費	ページ	233
年度	R8	所属名 農林水産部 農政企画課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】生産振興係 0857-30-8304		
款 農林水産業費	【12次総の施策体系】3104		
項 農業費	【事業の経過及び背景】 農業の生産現場では、産地競争力の強化が求められており、より高収益な施設園芸品目等への転換や規模拡大の取組が急務となっている。		
目 農業振興費	【事業の目的及び効果】 新たな園芸品目等により地域の特性を生かした特産物を育成する取組や育成イチゴ品種に係る単収・品質の向上及び生産基盤強化に必要な機械、施設等の整備に向けた取組を支援することで、農業生産額の向上を図る。		
(単位:千円)	【事業の内容】		
前年度当初予算額	1,764	① 県育成イチゴ品種生産拡大支援事業【県間接】 686千円 補助率:1/2(県1/3、市1/6)	
本年度要求額	3,337	【事業の実績】	
総務部長段階査定額	686	令和5年度 683千円 令和6年度 735千円 令和7年度 4,714千円(見込み)	
市長段階査定額	686	※県事業の組替えにより事業名変更(旧:鳥取市戦略的園芸品目(イチゴ「とっておき」)総合対策事業)	
区分	本年度予算額		
財源内訳	国・県支出金 456		
	地方債 0		
	その他 0		
	一般財源 230		
	計 686		
備考欄			

農009	項目名	畑地化促進支援事業費	新規事業
予算書項目	畑地化促進支援事業費	ページ	233
年度	R8	所属名 農林水産部 農政企画課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】生産振興係 0857-30-8304		
款 農林水産業費	【12次総の施策体系】3104		
項 農業費	【事業の経過及び背景】 水田利活用直接支払交付金の見直しにより、令和9年度以降、水稲及び転作作物への支援内容が大きく変更される見込みである。国の交付金に依存しない、高収益作物の選定、産地の形成等の取組が求められる。		
目 農業振興費	【事業の目的及び効果】 主食用米に代わり、麦・大豆や多収品種の飼料用米等への作付転換を定着させていくため、主に中山間地域において畑作物の産地づくりや農地利用の団地化により生産性を高めるとともに、農地の維持・管理と生産者の所得の向上を図る。		
(単位:千円)	【事業の内容】 畑作物の産地づくりに取り組む地域を対象に、団地化やブロックローテーションの体制構築等、モデル的に調整会議を組織し、交付対象水田若しくは畑地化して維持するのか見極め主に中山間地域における産地づくりと農地保全を図る。 ① 団地化・ブロックローテーションに向けた関係者間の農地利用調整 ② 団地化・ブロックローテーションの実施に向けたほ場調査 ③ 畑地化による畑作物の収量向上等実証・分析 ④ 体系構築のための実証栽培		
前年度当初予算額	1,500	【事業の実績】 令和6年度 1,500千円 令和7年度 1,500千円(見込み)	
本年度要求額	1,500		
総務部長段階査定額	1,500	【事業の内容】 畑作物の産地づくりに取り組む地域を対象に、団地化やブロックローテーションの体制構築等、モデル的に調整会議を組織し、交付対象水田若しくは畑地化して維持するのか見極め主に中山間地域における産地づくりと農地保全を図る。 ① 団地化・ブロックローテーションに向けた関係者間の農地利用調整 ② 団地化・ブロックローテーションの実施に向けたほ場調査 ③ 畑地化による畑作物の収量向上等実証・分析 ④ 体系構築のための実証栽培	
市長段階査定額	1,500	【事業の実績】 令和6年度 1,500千円 令和7年度 1,500千円(見込み)	
区分	本年度予算額	【事業の内容】 畑作物の産地づくりに取り組む地域を対象に、団地化やブロックローテーションの体制構築等、モデル的に調整会議を組織し、交付対象水田若しくは畑地化して維持するのか見極め主に中山間地域における産地づくりと農地保全を図る。 ① 団地化・ブロックローテーションに向けた関係者間の農地利用調整 ② 団地化・ブロックローテーションの実施に向けたほ場調査 ③ 畑地化による畑作物の収量向上等実証・分析 ④ 体系構築のための実証栽培	
財源内訳		【事業の実績】 令和6年度 1,500千円 令和7年度 1,500千円(見込み)	
国・県支出金	1,500		
地方債	0		
その他	0		
一般財源	0		
計	1,500		
備考欄			

農010	項目名	ともに目指す担い手強化支援事業費	新規事業
予算書項目	ともに目指す担い手強化支援事業費	ページ	233
年度	R8	所属名 農林水産部 農政企画課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】担い手支援係 0857-30-8305		
款 農林水産業費	【12次総の施策体系】3104		
項 農業費	【事業の経過及び背景】 本市では農地の遊休化、農業者の高齢化が進行する状況である。その中で生産規模拡大等を目指す意欲ある農業者が作成する計画(プラン)に対し支援を行うことで、地域農業の振興、活性化、農業者の所得向上を図ってきた。県事業の新設に伴い、令和6年度までの「みんなでやらいや農業支援事業」から本事業に移行した。		
目 農業振興費	【事業の目的及び効果】 意欲ある農業者、農業集団等が目的達成のために作成したプランに位置づけた取組に対し支援を行い、地域農業の振興や活性化を図る。		
(単位:千円)	【事業の内容】 事業実施主体の作成した「プラン」を実現するために必要な事業(ハード、ソフト事業)に対し助成する。 補助率:ハード 県1/3・市1/6 ソフト 県1/2・市1/6 補助上限額(通常タイプ) 個人 6,000千円、法人等 12,000千円 (ジャンプアップタイプ) 個人 12,000千円、法人等 24,000千円		
前年度当初予算額	0	・実施内容 鳥取(継続1件)パイプハウス他 3,810千円 気高(継続1件)育苗ハウス他 5,195千円 鹿野(新規1件)トラクター他 5,282千円	
本年度要求額	43,368	【事業の実績】 令和5年度 15,642千円 令和6年度 8,612千円 令和7年度 19,282千円(見込み)	
総務部長段階査定額	14,287		
市長段階査定額	14,287		
区分	本年度予算額		
財源内訳			
国・県支出金	9,524		
地方債	0		
その他	0		
一般財源	4,763		
計	14,287		
備考欄			

農011	項目名	温暖化対策に係る新品目等チャレンジ実証事業費	新規事業
予算書項目	温暖化対策に係る新品目等チャレンジ実証事業費	ページ	233
年度	R8	所属名 農林水産部 農政企画課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】生産振興係 0857-30-8304		
款 農林水産業費	【12次総の施策体系】3104		
項 農業費	【事業の経過及び背景】 世界的な気候変動による温暖化は、我が国の農作物栽培にも影響を与えており、本市においても高温障害に強い品種や温暖化に適した新たな特産作物の導入が期待されている。		
目 農業振興費	【事業の目的及び効果】 再エネ（温泉）を活用し、温暖化により県内でも新たに栽培できる可能性のある品目等を導入するため、栽培実証を行う。また、園芸施設にて営農開始する際に設備投資が大きな負担となることから、鳥取型低コストハウスを参考に、さらに安価で耐久性に優れた施設設置及び実証も併せて行い新たな園芸品目の生産振興を図る。		
(単位:千円)	【事業の内容】 ・実施主体 農業者、農業法人等（※販売を目的とした栽培実証をする者とする） ・補助対象経費 温暖化に適した新品目等を導入するための実証に要する経費 ※種苗費、肥料費、燃料費、その他生産資材費等 ・補助率 1/3 ※別途、県が1/3を直接補助		
前年度当初予算額	1,000	【事業の実績】 令和7年度 333千円（見込み）	
本年度要求額	333	※その他財源の繰入金は、ふるさと納税基金繰入金	
総務部長段階査定額	333	その他財源の内訳	
市長段階査定額	333	分担金	0
区分	本年度予算額	負担金	0
財源内訳		使用料	0
国・県支出金	0	手数料	0
地方債	0	財産収入	0
その他	333	寄付金	0
一般財源	0	繰入金	333
計	333	諸収入	0
		その他	0
備考欄			

農012	項目名	麒麟のまちうまいもん販路拡大事業費	新規事業
予算書項目	麒麟のまちうまいもん販路拡大事業費	ページ	233
年度	R8	所属名 農林水産部 農政企画課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】生産振興係 0857-30-8304		
款 農林水産業費	【12次総の施策体系】3104		
項 農業費	【事業の経過及び背景】 食の「安全・安心」が求められている中、本市の魅力ある農林水産物等をマルシェや試食宣伝・商談会などを通して関西圏を中心にPRしてきた。しかしながら、潜在的な需要はあるものの、安定的な供給量の確保が困難な事や、流通コスト高により取引単価が見合わないなどの理由により、直接取引につながらないケースが多い現状がある。その課題を解決するためには、産地化によるロットの確保や地域商社機能を活用した物流・商流の一本化などの取組を推進していく必要がある。		
目 農業振興費	【事業の目的及び効果】 集荷から販売までのトータルでの販路開拓を行うとともに、主に関西圏においてマルシェの開催や商談会を通して広域的なPR活動を行い農林水産物等の知名度アップを図る。		
(単位:千円)	【事業の内容】 (1) とっとり旬菜マルシェ等開催業務 (2) 麒麟のまち特産品商談業務 (3) 米の流通及び消費拡大事業 (4) 麒麟のまち賑わい創出事業 等		
前年度当初予算額	10,838	【事業の実績】 令和5年度 891千円（コロナ交付金事業7,800千円除く） 令和6年度 8,274千円 令和7年度 10,838千円（見込み）	
本年度要求額	12,923	※その他財源の繰入金は、ふるさと納税基金繰入金	
総務部長段階査定額	12,018	その他財源の内訳	
市長段階査定額	12,018	分担金	0
区分	本年度予算額	負担金	0
財源内訳		使用料	0
国・県支出金	5,847	手数料	0
地方債	0	財産収入	0
その他	322	寄付金	0
一般財源	5,849	繰入金	322
計	12,018	諸収入	0
		その他	0
備考欄			

農013	項目名	未来につなぐ！中山間地域再生事業費	新規事業	○	
予算書項目	未来につなぐ！中山間地域再生事業費		ページ	233	
年度	R8		所属名 農林水産部 農政企画課		
会計名			事業の概要		
一般会計					
款	農林水産業費				
項	農業費				
目	農業振興費		<p>【問合せ先】担い手支援係 0857-30-8305</p> <p>【12次総の施策体系】3104</p> <p>【事業の経過及び背景】 第2世代交付金実施計画における本市農林水産業を支える中山間地域の活性化による基盤維持を図るため令和8年度より事業化する。</p> <p>【事業の目的及び効果】 農地の集積・集約化が進まないまま荒廃しつつある中山間地の耕作条件不利農地を活用し、地域の魅力を向上させ移住定住といった人口増加対策へとつなげていくことを目的とする。</p> <p>【事業の内容】 (1) 農地の維持・再生に係るモデル地域での実証（委託費：7,315千円） ・事業計画の進捗精査等ワーキンググループ運営に係る経費（500千円） ・対象農地の除草・耕耘・定植等初期整備（6,000千円） ・高校生や大学生による中山間地域農地の維持活性化に向けた調査研究（815千円） (2) 中山間地域農地の維持管理を目指す農業者や営農組織、集落等が将来にわたり「楽しく」農業を継続していくためのスマート農業機械等の導入支援 ・補助率 1/2 補助上限額1,000千円 ・実施件数 10件 (3) 対象農地の維持管理に必要な機械等の貸し出し（5,000千円）</p>		
(単位:千円)					
前年度当初予算額	0				
本年度要求額	22,315				
総務部長段階査定額	22,315				
市長段階査定額	22,315				
区分	本年度予算額	その他財源の内訳			
財源内訳		分担金			0
国・県支出金	11,157	負担金			0
地方債	0	使用料			0
その他	0	手数料	0		
一般財源	11,158	財産収入	0		
計	22,315	寄付金	0		
		繰入金	0		
		諸収入	0		
		その他	0		
備考欄					

農014	項目名	畜産振興対策事業費	新規事業		
予算書項目	畜産振興対策事業費		ページ	233	
年度	R8		所属名 農林水産部 農政企画課		
会計名			事業の概要		
一般会計					
款	農林水産業費				
項	農業費				
目	畜産業費		<p>【問合せ先】生産振興係 0857-30-8304</p> <p>【12次総の施策体系】3104</p> <p>【事業の経過及び背景】 TPPや日EU・EPA（日EU経済連携協定）の影響が懸念される畜産業において、畜産農家が持続的に安定生産が行えるよう、経営力強化につながる支援が求められている。</p> <p>【事業の目的及び効果】 優良な牛を育てる農家を支援することで畜産振興及び鳥取和牛のブランド力を高め、より一層の消費拡大を図る。</p> <p>【事業の内容】 (1) 肉用牛放牧奨励事業（補助率：1/10） 公共放牧場の繁殖牛の放牧料の一部を助成 (2) 肥育素牛安定導入対策事業（補助率：1/6） JAが肥育農家に肥育を目的として素牛を貸し付けた場合、導入から出荷までの利息の一部を助成 (3) 肉用牛・乳用牛経営体質強化対策事業（補助率：1/20） 配合飼料の購入にあたり当該年度の輸入原料平均価格と過去の輸入原料平均価格との差額を補填</p> <p>【事業の実績】 令和5年度 3,492千円 令和6年度 2,676千円 令和7年度 5,447千円（見込み）</p>		
(単位:千円)					
前年度当初予算額	5,447				
本年度要求額	4,238				
総務部長段階査定額	4,238				
市長段階査定額	4,238				
区分	本年度予算額	その他財源の内訳			
財源内訳		分担金			0
国・県支出金	0	負担金			0
地方債	0	使用料			0
その他	0	手数料	0		
一般財源	4,238	財産収入	0		
計	4,238	寄付金	0		
		繰入金	0		
		諸収入	0		
		その他	0		
備考欄					

農015	項目名	鳥取地どりブランド生産拡大支援事業費補助金	新規事業																		
予算書項目	畜産振興対策事業費	ページ	233																		
年度	R8	所属名 農林水産部 農政企画課																			
会計名		事業の概要 【問合せ先】生産振興係 0857-30-8304 【12次総の施策体系】3104 【事業の経過及び背景】 「鳥取地どりピヨ」は、市場関係者から高い評価を得ていたものの、生産・食鳥処理・販売を行ってきた(株)ふるさと鹿野での事業継続が困難となり、その後、平成30年12月に設立された(株)鹿野地鶏が事業を引き継ぎ、新体制のもとで出荷・販売を行っている。 【事業の目的及び効果】 新たな体制で地どり事業を再開するにあたって必要となる食鳥処理に係る人材育成などを支援し、鳥取地どりブランドのより一層のブランド化を図る。 【事業の内容】 ・生産に必要な施設の整備の一部を支援 ・講習会の受講や、啓発宣伝に係る経費の一部を支援 【事業の実績】 令和5年度 3,434千円 令和6年度 4,538千円(繰越含む) 令和7年度 3,562千円(見込み)																			
一般会計																					
款	農林水産業費																				
項	農業費																				
目	畜産業費																				
(単位:千円)																					
前年度当初予算額	5,568																				
本年度要求額	2,267																				
総務部長段階査定額	2,267	その他財源の内訳 <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>分担金</td><td>0</td></tr> <tr><td>負担金</td><td>0</td></tr> <tr><td>使用料</td><td>0</td></tr> <tr><td>手数料</td><td>0</td></tr> <tr><td>財産収入</td><td>0</td></tr> <tr><td>寄付金</td><td>0</td></tr> <tr><td>繰入金</td><td>0</td></tr> <tr><td>諸収入</td><td>0</td></tr> <tr><td>その他</td><td>0</td></tr> </table>		分担金	0	負担金	0	使用料	0	手数料	0	財産収入	0	寄付金	0	繰入金	0	諸収入	0	その他	0
分担金	0																				
負担金	0																				
使用料	0																				
手数料	0																				
財産収入	0																				
寄付金	0																				
繰入金	0																				
諸収入	0																				
その他	0																				
市長段階査定額	2,267																				
区分	本年度予算額																				
財源内訳																					
国・県支出金	0																				
地方債	0																				
その他	0																				
一般財源	2,267																				
計	2,267																				
備考欄																					

農016	項目名	鳥取市畜産暑熱対策事業費	新規事業																		
予算書項目	畜産振興対策事業費	ページ	233																		
年度	R8	所属名 農林水産部 農政企画課																			
会計名		事業の概要 【問合せ先】生産振興係 0857-30-8304 【12次総の施策体系】3104 【事業の経過及び背景】 近年の温暖化により畜舎内が高温になり、畜産の生育状況に影響している。畜舎内の室温が上昇すると、家畜が暑さを感じ、熱中症になるリスクが高くなる。特に牛、豚、鶏などの家畜は暑さに弱く、畜産農家が持続的に安定生産が行えるよう暑熱対策が急ぐ必要がある。 【事業の目的及び効果】 牛舎や豚舎の暑熱対策を実施することにより、暑熱ストレスによる生産性低下を防ぐことにより、畜産経営の維持・継続を図る。 【事業の内容】 畜舎の暑熱対策に資する整備(二重屋根、遮熱塗料塗布、換気扇等)を助成する。 (1) 酪農中小家畜暑熱対策事業(養鶏)(補助率:1/6) 事業費1,719千円×1/6(補助率)≒287千円 (2) 酪農中小家畜暑熱対策事業(養豚)(補助率:1/6) 事業費5,000千円×1/6(補助率)≒833千円 【事業の実績】 令和7年度 1,095千円(見込み) ※その他財源の繰入金は、ふるさと納税基金繰入金																			
一般会計																					
款	農林水産業費																				
項	農業費																				
目	畜産業費																				
(単位:千円)																					
前年度当初予算額	1,095																				
本年度要求額	1,120																				
総務部長段階査定額	1,120	その他財源の内訳 <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>分担金</td><td>0</td></tr> <tr><td>負担金</td><td>0</td></tr> <tr><td>使用料</td><td>0</td></tr> <tr><td>手数料</td><td>0</td></tr> <tr><td>財産収入</td><td>0</td></tr> <tr><td>寄付金</td><td>0</td></tr> <tr><td>繰入金</td><td>1,120</td></tr> <tr><td>諸収入</td><td>0</td></tr> <tr><td>その他</td><td>0</td></tr> </table>		分担金	0	負担金	0	使用料	0	手数料	0	財産収入	0	寄付金	0	繰入金	1,120	諸収入	0	その他	0
分担金	0																				
負担金	0																				
使用料	0																				
手数料	0																				
財産収入	0																				
寄付金	0																				
繰入金	1,120																				
諸収入	0																				
その他	0																				
市長段階査定額	1,120																				
区分	本年度予算額																				
財源内訳																					
国・県支出金	0																				
地方債	0																				
その他	1,120																				
一般財源	0																				
計	1,120																				
備考欄																					

農017	項目名	畜産経営緊急支援事業費(重点支援地方交付金)	新規事業
予算書項目	畜産振興対策事業費	ページ	233
年度	R8	所属名 農林水産部 農政企画課	
会計名		事業の概要	
一般会計		【問合せ先】生産振興係 0857-30-8304	
款	農林水産業費	【12次総の施策体系】3104	
項	農業費	【事業の経過及び背景】 世界での飼料作物需要増加、原油高、円安等の影響により、飼料価格、資材・燃料代が高騰した状況が続いており、経営コストに対する飼料費の割合が高い畜産事業者の経営を圧迫している。	
目	畜産業費	【事業の目的及び効果】 飼料費等の一部を緊急的に支援し、将来にわたって安定した本市の食を担う畜産事業者の経営の維持安定を図る。	
(単位:千円)		【事業の内容】	
前年度当初予算額	23,704	①-1 肉用牛：牛マルキン制度の補填拡充支援 3,152千円 《市1/4》	
本年度要求額	16,500	①-2 肉用豚：豚マルキン制度の補填拡充支援 245千円 《市1/4》	
総務部長段階査定額	16,300	② 乳牛：高騰配合飼料代支援 11,965千円 《市1/4》	
市長段階査定額	16,300	③-1 肉用鶏：高騰配合飼料代支援 26千円 《市1/6》	
区分		③-2 採卵鶏：高騰配合飼料代支援 242千円 《市1/6》	
財源内訳	国・県支出金	8,147	④ 繁殖牛：和子牛飼料緊急支援 670千円 《定額》
	地方債	0	財源：物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金
	その他	0	【事業の実績】
	一般財源	8,153	令和7年度 23,704千円(見込み)
	計	16,300	
備考欄			

農018	項目名	集落営農体制強化支援事業補助金	新規事業
予算書項目	意欲ある担い手支援事業費	ページ	235
年度	R8	所属名 農林水産部 農政企画課	
会計名		事業の概要	
一般会計		【問合せ先】担い手支援係 0857-30-8305	
款	農林水産業費	【12次総の施策体系】3104	
項	農業費	【事業の経過及び背景】 小規模農家が共同で営農を行う集落営農は、地域の水田農業を守る担い手として重要であり、組織化初期の経営安定を図るため平成20年度より本事業が創設された。	
目	農業構造改善事業費	【事業の目的及び効果】 継続的な地域の水田農業を維持するため、集落営農組織に対し機械施設の整備などを支援する。	
(単位:千円)		【事業の内容】 集落営農組織の作成した集落営農ビジョン実現のために必要な事業に対し助成する。 ・機械施設整備等支援 補助率1/2(県1/3、市1/6) ・実施内容 3組織 ライスセンター整備、コンバイン、畔塗機等 27,287千円	
前年度当初予算額	8,541	【事業の実績】	
本年度要求額	38,671	令和5年度 1,866千円 2組織	
総務部長段階査定額	27,287	令和6年度 実績なし	
市長段階査定額	27,287	令和7年度 8,541千円 2組織	
区分			
財源内訳	国・県支出金	18,191	
	地方債	0	
	その他	0	
	一般財源	9,096	
	計	27,287	
備考欄			

農019	項目名	野生鳥獣被害防止事業費	新規事業
予算書項目	野生鳥獣被害防止事業費	ページ	237
年度	R8	所属名 農林水産部 農政企画課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】鳥獣対策係 0857-30-8303		
款 農林水産業費	【12次総の施策体系】3104		
項 林産業費	【事業の経過及び背景】 野生鳥獣による農作物被害が増加傾向にある。また、有害鳥獣の駆除を委託している狩猟免許所持者が高齢化により減少している。		
目 林業総務費	【事業の目的及び効果】 イノシシ等の被害防止対策に必要な補助金を交付することにより、農林業者が安心して農林業の生産活動を行えるようにし、もって本市農林業の振興を図る。		
(単位:千円)	【事業の内容】		
前年度当初予算額	114,979	① 有害鳥獣駆除実施事業費 負担割合: 県1/3、市2/3	
本年度要求額	136,637	② 侵入防止施設整備事業費 負担割合: 県1/3、市1/3 (地元1/3)	
総務部長段階査定額	115,741	③ イノシシ等捕獲奨励金 負担割合: 県1/2、市1/2	
市長段階査定額	115,741	④ イノシシ・シカ捕獲奨励金 (緊急捕獲) 負担割合: 国定額、市補填1,911千円	
区分	本年度予算額	⑤ 免許取得促進事業 負担割合: 県1/3、市2/3	
財源内訳		⑥ 鳥取市鳥獣害対策協議会支援事業 負担割合: 市1/3 (国1/2、地元1/6)	
国・県支出金	70,677	⑦ イノシシ解体処理施設維持管理費 負担割合: 市10/10	
地方債	0	⑧ 新規銃砲取得者の育成 市10/10、捕獲技術の向上対策事業 県10/10	
その他	0	⑨ 会計年度任用職員人件費	
一般財源	45,064	【事業の実績】	
計	115,741	令和5年度 99,300千円	
		令和6年度 105,081千円	
		令和7年度 114,979千円 (見込み)	
備考欄			

農020	項目名	クマ対策事業費	新規事業
予算書項目	野生鳥獣被害防止事業費	ページ	237
年度	R8	所属名 農林水産部 農政企画課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】鳥獣対策係 0857-30-8303		
款 農林水産業費	【12次総の施策体系】3104		
項 林産業費	【事業の経過及び背景】 人里へのツキノワグマの出没による人身事故を防ぐ。		
目 林業総務費	【事業の目的及び効果】 果樹園や人家近くに出没するクマに関する対策を講じることで、農作物の保護及び住民の安全を確保する。また、クマの緊急銃猟や錯誤捕獲等による対応時におけるクマよけスプレーや防護盾などの安全装備購入により、実務者の安全対策を図る。		
(単位:千円)	【事業の内容】		
前年度当初予算額	2,231	(1) 遭遇回避	
本年度要求額	5,308	① クマ注意看板、追払い用品	
総務部長段階査定額	3,153	② クマ鈴補助	
市長段階査定額	3,153	③ 放任果樹樹木伐採	
区分	本年度予算額	(2) 捕獲対策	
財源内訳		クマ安楽殺処分委託等	
国・県支出金	1,967	【事業の実績】	
地方債	0	令和5年度 124千円	
その他	0	令和6年度 493千円	
一般財源	1,186	令和7年度 2,231千円 (見込み)	
計	3,153		
備考欄			

農021	項目名	射撃場管理運営費	新規事業
予算書項目	射撃場管理運営費	ページ	237
年度	R8	所属名	農林水産部 農政企画課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】鳥獣対策係 0857-30-8303		
款 農林水産業費	【12次総の施策体系】3104		
項 林産業費	【事業の経過及び背景】 鳥取クレー射撃場は、野生鳥獣対策を担う銃猟者のさらなる養成を目指し平成28年9月に再開したが、銃猟者の減少には歯止めがかからず、野生鳥獣による農作物被害も増加傾向が続いている。		
目 林業総務費	【事業の目的及び効果】 射撃場の適切な管理運営を行うことで、銃猟者の着実な育成・確保を進め、捕獲強化による農作物被害の軽減を図る。		
(単位:千円)	施設概要 ・敷地面積: 11,240㎡ ・トラップ射場、スキート射場: 各1面 (鉛弾飛散防止ネット設置) ・管理棟: 1棟		
前年度当初予算額	56,415	【事業の内容】	
本年度要求額	89,187	(1) 報酬(教習射撃指導他) 529千円	
総務部長段階査定額	88,095	(2) 飛散防止ネット張替調整業務(スキート) 3,300千円	
市長段階査定額	88,095	(3) 鉛弾処理委託業務(債務負担行為) 71,167千円	
区分	本年度予算額	(4) スコアボード更新 1,091千円 等	
財源内訳	国・県支出金	0	令和5年度 14,149千円 延べ利用者数 817名
	地方債	0	令和6年度 31,588千円 延べ利用者数 900名
	その他	8,162	令和7年度 56,275千円 延べ利用者数 878名
	一般財源	79,933	(繰越含む) (見込み)
	計	88,095	※その他財源の負担金は、東部4町負担金
			※その他財源の使用料は、射撃場使用料
			※その他財源の手数料は、教習射撃受講料
			※その他財源の諸収入は、技能講習受託収入、自動販売機電気利用料
備考欄			

農022	項目名	市行造林維持管理費	新規事業
予算書項目	市行造林維持管理費	ページ	235
年度	R8	所属名	農林水産部 林務水産課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】林務係 0857-30-8311		
款 農林水産業費	【12次総の施策体系】3104		
項 林産業費	【事業の経過及び背景】 市行造林、市有林の適正な森林管理を行う必要がある。		
目 林業総務費	【事業の目的及び効果】 森林経営計画(令和5年度～令和9年度)に基づき、市行造林、市有林の保育、間伐材生産等の適正な森林整備を行う。		
(単位:千円)	【事業の内容】		
前年度当初予算額	15,202	① 保険料 2,065千円	
本年度要求額	22,407	② 委託料 河内市行造林(間伐搬出 3.10ha 作業道改良700m) 6,590千円	
総務部長段階査定額	22,407	円護寺市行造林(間伐搬出 6.50ha 作業道改良 1200m) 12,924千円	
市長段階査定額	22,407	鳥取市行造林立木評価業務 811千円	
区分	本年度予算額	※その他の事業費は事務費等	
財源内訳	国・県支出金	12,017	【事業の実績】
	地方債	0	令和5年度 3,975千円 (施策は台風による林地被災ため未実施)
	その他	9,192	令和6年度 32,138千円
	一般財源	1,198	令和7年度 1,707千円 (見込み)
	計	22,407	※その他財源の財産収入は、立木売却収入
			※その他財源の繰入金は、市行造林基金繰入金
備考欄			

農023	項目名	林業労働者雇用条件改善事業費	新規事業
予算書項目	林業労働者雇用条件改善事業費	ページ	237
年度	R8	所属名 農林水産部 林務水産課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】林務係 0857-30-8311		
款 農林水産業費	【12次総の施策体系】3104		
項 林産業費	【事業の経過及び背景】 林業労働者の高齢化により、担い手不足が進んでいる。		
目 林業総務費	【事業の目的及び効果】 林業事業体が雇用する林業労働者の雇用条件の改善に努め、担い手育成を促進するため、雇用開始から5年目までの市内在住の林業労働者に係る健康保険、厚生年金（農林年金）の事業主負担に対し経費の一部を助成する。		
(単位:千円)	【事業の内容】 健康保険、農林年金に係る負担補助。 ・事業主体：鳥取県東部森林組合、八頭中央森林組合、智頭町森林組合、(株)樹林業ほか ・補助対象：31人 ・負担割合：県 1/4、市 1/4、事業主体 1/2		
前年度当初予算額	14,082	【事業の実績】	
本年度要求額	8,097	令和5年度 4,580千円 24人 令和6年度 4,358千円 21人 令和7年度 11,402千円 25人（見込み）	
総務部長段階査定額	8,097	【事業の内訳】	
市長段階査定額	8,097	分担金 0 負担金 0 使用料 0 手数料 0 財産収入 0 寄付金 0 繰入金 0 諸収入 0 その他 0	
区分	本年度予算額	【備考欄】	
財源内訳	国・県支出金 4,048		
	地方債 0		
	その他 0		
	一般財源 4,049		
	計 8,097		

農024	項目名	林業新規就業者支援対策事業費	新規事業
予算書項目	林業労働者雇用条件改善事業費	ページ	237
年度	R8	所属名 農林水産部 林務水産課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】林務係 0857-30-8311		
款 農林水産業費	【12次総の施策体系】3104		
項 林産業費	【事業の経過及び背景】 新規就業者の確保及び育成が喫緊の課題となっているが、研修等に要する経費を新規就業者に求めることも多く、新規採用が抑制される要因の1つとなっている。		
目 林業総務費	【事業の目的及び効果】 意欲ある林業就業者が負担なく研修を行うため、国が実施する「緑の雇用」事業による研修に必要な道具や装備の購入にかかる費用の助成に嵩上げをすることで、林業事業体が採用する新規就業者を増加させ、本市の林業振興を図る。		
(単位:千円)	【事業の内容】 国の「緑の雇用」事業によるフォレストワーカー研修1年目に必要な器具及び防護服等の購入に必要な経費の一部を助成。 補助率：2/3 補助対象：研修準備費（道具購入費）、資材費（装備購入品）		
前年度当初予算額	1,080	【事業の実績】	
本年度要求額	600	令和5年度 280千円 5人 令和6年度 279千円 3人 令和7年度 304千円 4人（見込み）	
総務部長段階査定額	600	※その他財源の繰入金は、森林環境譲与税基金繰入金	
市長段階査定額	600	【事業の内訳】	
区分	本年度予算額	分担金 0 負担金 0 使用料 0 手数料 0 財産収入 0 寄付金 0 繰入金 600 諸収入 0 その他 0	
財源内訳	国・県支出金 0		
	地方債 0		
	その他 600		
	一般財源 0		
	計 600		
備考欄			

農025	項目名	森林経営管理事業費	新規事業
予算書項目	森林経営管理事業費	ページ	237
年度	R8	所属名 農林水産部 林務水産課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】林務係 0857-30-8311		
款 農林水産業費	【12次総の施策体系】3104		
項 林産業費	【事業の経過及び背景】 戦後造成された人工林が主伐期を迎えようとしている一方、所有者の高齢化、零細化により経営・管理が行きとどいていない森林が増加している。このため、新たな経営管理システムを構築すべく、「森林経営管理法」が平成30年5月に制定された。		
目 林業総務費	【事業の目的及び効果】 森林所有者が自ら経営・管理を実行できない場合、市町村が経営管理を受託し、意欲と能力のある林業経営者への再委託もしくは市町村が自ら管理することにより、林業の成長産業化と森林資源の適切な管理を図る。なお、本事業は森林環境譲与税を財源としている。		
(単位:千円)	【事業の内容】 森林経営管理を推進するために必要な意向調査や森林境界の確認を実施。 ・意向調査業務(用瀬町赤波) ・森林境界明確化業務(国府町雨滝) ・市直接管理業務(森林巡視:佐治町) ・林政アドバイザー業務		
前年度当初予算額	73,850	【事業の実績】 令和5年度 22,679千円 令和6年度 62,959千円 令和7年度 73,850千円(見込み)	
本年度要求額	49,904	※その他財源の繰入金は、森林環境譲与税基金繰入金	
総務部長段階査定額	46,773	【事業の内容】 森林経営管理を推進するために必要な意向調査や森林境界の確認を実施。 ・意向調査業務(用瀬町赤波) ・森林境界明確化業務(国府町雨滝) ・市直接管理業務(森林巡視:佐治町) ・林政アドバイザー業務	
市長段階査定額	46,773	【事業の実績】 令和5年度 22,679千円 令和6年度 62,959千円 令和7年度 73,850千円(見込み)	
区分	本年度予算額	※その他財源の繰入金は、森林環境譲与税基金繰入金	
財源内訳	計 46,773	【事業の内容】 森林経営管理を推進するために必要な意向調査や森林境界の確認を実施。 ・意向調査業務(用瀬町赤波) ・森林境界明確化業務(国府町雨滝) ・市直接管理業務(森林巡視:佐治町) ・林政アドバイザー業務	
国・県支出金	0	【事業の実績】 令和5年度 22,679千円 令和6年度 62,959千円 令和7年度 73,850千円(見込み)	
地方債	0	【事業の内容】 森林経営管理を推進するために必要な意向調査や森林境界の確認を実施。 ・意向調査業務(用瀬町赤波) ・森林境界明確化業務(国府町雨滝) ・市直接管理業務(森林巡視:佐治町) ・林政アドバイザー業務	
その他	41,693	【事業の実績】 令和5年度 22,679千円 令和6年度 62,959千円 令和7年度 73,850千円(見込み)	
一般財源	5,080	【事業の内容】 森林経営管理を推進するために必要な意向調査や森林境界の確認を実施。 ・意向調査業務(用瀬町赤波) ・森林境界明確化業務(国府町雨滝) ・市直接管理業務(森林巡視:佐治町) ・林政アドバイザー業務	
計	46,773	【事業の実績】 令和5年度 22,679千円 令和6年度 62,959千円 令和7年度 73,850千円(見込み)	
備考欄			

農026	項目名	鳥取県植樹祭開催事業費	新規事業
予算書項目	鳥取県植樹祭開催事業費	ページ	237
年度	R8	所属名 農林水産部 林務水産課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】林務係 0857-30-8311		
款 農林水産業費	【12次総の施策体系】3104		
項 林産業費	【事業の経過及び背景】 鳥取市で自然愛護の気運を高める必要がある。		
目 林業総務費	【事業の目的及び効果】 第70回鳥取県植樹祭を開催することにより、市民共通の財産である森林を守り育てることの大切さを普及啓蒙する。		
(単位:千円)	【事業の内容】 地域住民の参加に伴う準備費等に係る経費負担。		
前年度当初予算額	0	【事業の実績】 平成21年度 第54回鳥取県植樹祭 鳥取市開催 平成27年度 第60回鳥取県植樹祭 鳥取市開催 令和元年度 第64回鳥取県植樹祭 鳥取市開催	
本年度要求額	2,200	※その他財源の繰入金は、森林環境譲与税基金繰入金	
総務部長段階査定額	1,500	【事業の内容】 地域住民の参加に伴う準備費等に係る経費負担。	
市長段階査定額	1,500	【事業の実績】 平成21年度 第54回鳥取県植樹祭 鳥取市開催 平成27年度 第60回鳥取県植樹祭 鳥取市開催 令和元年度 第64回鳥取県植樹祭 鳥取市開催	
区分	本年度予算額	※その他財源の繰入金は、森林環境譲与税基金繰入金	
財源内訳	計 1,500	【事業の内容】 地域住民の参加に伴う準備費等に係る経費負担。	
国・県支出金	0	【事業の実績】 平成21年度 第54回鳥取県植樹祭 鳥取市開催 平成27年度 第60回鳥取県植樹祭 鳥取市開催 令和元年度 第64回鳥取県植樹祭 鳥取市開催	
地方債	0	【事業の内容】 地域住民の参加に伴う準備費等に係る経費負担。	
その他	1,500	【事業の実績】 平成21年度 第54回鳥取県植樹祭 鳥取市開催 平成27年度 第60回鳥取県植樹祭 鳥取市開催 令和元年度 第64回鳥取県植樹祭 鳥取市開催	
一般財源	0	【事業の内容】 地域住民の参加に伴う準備費等に係る経費負担。	
計	1,500	【事業の実績】 平成21年度 第54回鳥取県植樹祭 鳥取市開催 平成27年度 第60回鳥取県植樹祭 鳥取市開催 令和元年度 第64回鳥取県植樹祭 鳥取市開催	
備考欄			

農027	項目名	林道改良事業費	新規事業
予算書項目	林道維持管理事業費	ページ	237
年度	R8	所属名 農林水産部 林務水産課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】林務係 0857-30-8311		
款 農林水産業費	【12次総の施策体系】3104		
項 林産業費	【事業の経過及び背景】 効率的な森林施業の促進を図るため、森林所有者から林業機械の利用に対応することができる林道の改良が要望されている。		
目 林業振興費	【事業の目的及び効果】 林業機械での施業に対応するため林道の改良・舗装を行い、安全な交通を確保し、効率的な森林施業の促進を図る。		
(単位:千円)	【事業の内容】		
前年度当初予算額	19,000	・林道点検診断保全整備 61橋 30,850千円	
本年度要求額	79,310	・橋梁修繕工事	
総務部長段階査定額	55,110	小畑谷線 (1号基) 8,000千円	
市長段階査定額	55,110	十神線 (松木橋) 5,000千円	
		猪路谷線 (猪路谷橋) 11,000千円	
区分	本年度予算額	【事業の実績】	
財源内訳		令和5年度 7,131千円	
国・県支出金	25,504	令和6年度 11,994千円	
地方債	13,800	令和7年度 19,000千円 (見込み)	
その他	0		
一般財源	15,806		
計	55,110		
備考欄			

農028	項目名	造林事業費	新規事業
予算書項目	造林事業費	ページ	237
年度	R8	所属名 農林水産部 林務水産課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】林務係 0857-30-8311		
款 農林水産業費	【12次総の施策体系】3104		
項 林産業費	【事業の経過及び背景】 木材価格の低迷、林家の高齢化などにより、適切な森林施業が遅れており、林地の荒廃が進んでいる。		
目 林業振興費	【事業の目的及び効果】 適正な森林造成計画を計画的かつ効果的に推進するために必要な補助金を交付し、もって本市林業の振興を図る。		
(単位:千円)	【事業の内容】		
前年度当初予算額	83,319	・間伐・竹林林種転換・クヌギ造林補助	
本年度要求額	107,308	・シカ進入防護柵設置 (45,600m) ・シカ防護柵の点検 (115km)	
総務部長段階査定額	69,750	・シカ防護柵の撤去及び廃棄 (0.05km)	
市長段階査定額	69,750	○補助率	
		間伐: (普通林) 17%、(保安林) 17%、※地元負担 15%	
区分	本年度予算額	竹林樹種転換: 5% ※地元負担 15%	
財源内訳		センダン・カラマツ・コウヨウザン、クヌギ造林: 10% ※地元負担: 5%	
国・県支出金	4,180	シカ侵入防護柵設置: 10% ・シカ防護柵の点検: 定額15,000円/km	
地方債	38,200	シカ防護柵の撤去及び廃棄: 定額250,000円/km	
その他	27,370	【事業の実績】	
一般財源	0	間伐・竹林林種転換、シカ侵入、シカ柵	
計	69,750	皆伐再造林等 防護柵設置 点検	
備考欄	令和5年度 288.17ha/23,760千円 15.25km/ 6,071千円 62.03km/2,686千円		
		令和6年度 247.14ha/20,681千円 8.49km/ 3,418千円 67.49km/3,872千円	
		令和7年度 337.41ha/41,734千円 42.11km/18,011千円 83.94km/4,299千円	
		(見込み)	
		※その他財源の繰入金は、森林環境譲与税基金繰入金	

農029	項目名	健全な山の育成事業費	新規事業
予算書項目	造林事業費	ページ	237
年度	R8	所属名 農林水産部 林務水産課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】林務係 0857-30-8311		
款 農林水産業費	【12次総の施策体系】3104		
項 林産業費	【事業の経過及び背景】 県産材の有効利用を目的とし、鳥取県の補助金（1㎡当たり2,400円）に嵩上げすることで、森林施業の促進を図る。		
目 林業振興費	【事業の目的及び効果】 間伐施業の促進と間伐材の利用拡大を推進し、健全な山の育成を図るため、間伐材搬出支援を行う。		
(単位:千円)	【事業の内容】 間伐材搬出支援（1㎡当たり500円を補助） 搬出量 36,990㎡×500円=18,495千円		
前年度当初予算額	24,638	【事業の実績】 令和5年度 17,416千円 令和6年度 27,473千円 令和7年度 15,640千円（見込み）	
本年度要求額	18,495	※その他財源の繰入金は、森林環境譲与税基金繰入金	
総務部長段階査定額	18,495	【その他財源の内訳】	
市長段階査定額	18,495	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	18,495
		諸収入	0
		その他	0
区分	本年度予算額		
財源内訳			
国・県支出金	0		
地方債	0		
その他	18,495		
一般財源	0		
計	18,495		
備考欄			

農030	項目名	豊かな森づくり推進事業費	新規事業
予算書項目	造林事業費	ページ	237
年度	R8	所属名 農林水産部 林務水産課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】林務係 0857-30-8311		
款 農林水産業費	【12次総の施策体系】3104		
項 林産業費	【事業の経過及び背景】 拡大する竹対策として、鳥取県豊かな森づくり協働税を財源に竹林の抜き伐り等を実施し、竹林整備に取り組む。		
目 林業振興費	【事業の目的及び効果】 適正な管理ができていない竹林の抜き伐り等に対し補助を行う。		
(単位:千円)	【事業の内容】 鳥取県竹林整備事業費補助金（豊かな森づくり協働税を活用） 補助率：県 80% 市 10%		
前年度当初予算額	49,673	【事業の実績】 令和5年度 17,607千円 3.99ha（抜き伐り、搬出） 令和6年度 20,848千円 3.85ha（抜き伐り、搬出） 令和7年度 19,332千円 2.77ha（抜き伐り、搬出）（見込み）	
本年度要求額	49,668	※その他財源の繰入金は、森林環境譲与税基金繰入金	
総務部長段階査定額	29,802	【その他財源の内訳】	
市長段階査定額	29,802	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	3,312
		諸収入	0
		その他	0
区分	本年度予算額		
財源内訳			
国・県支出金	26,490		
地方債	0		
その他	3,312		
一般財源	0		
計	29,802		
備考欄			

農031	項目名	森づくり作業道整備事業費	新規事業
予算書項目	森づくり作業道整備事業費	ページ	237
年度	R8	所属名	農林水産部 林務水産課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】林務係 0857-30-8311		
款 農林水産業費	【12次総の施策体系】3104		
項 林産業費	【事業の経過及び背景】 森林施業の効率化を図るため林業専用道などの整備を推進する必要がある。		
目 林業振興費	【事業の目的及び効果】 健全な森林の維持管理、作業コスト低減等を図るため、作業道等の整備を促進する。		
(単位:千円)	【事業の内容】 国・県の作業道補助事業とあわせて、作業道等整備事業に補助を行う。 ① 造林作業道整備の補助金 作業道整備(普通林) 30,650m 作業道整備(保安林) 11,800m ② 林業専用道整備の補助金 林業専用道整備 1,755m		
前年度当初予算額	24,036	【事業の実績】 令和5年度 12,022千円 58路線 47,082m 林業専用道1路線 1,093m 令和6年度 8,914千円 39路線 23,951m、林業専用道2路線 887m 令和7年度 24,036千円(見込み)	
本年度要求額	22,196	※その他財源の繰入金は、森林環境譲与税基金繰入金	
総務部長段階査定額	15,537	【その他財源の内訳】	
市長段階査定額	15,537	分担金	0
区分	本年度予算額	負担金	0
財源内訳		使用料	0
国・県支出金	0	手数料	0
地方債	0	財産収入	0
その他	15,537	寄付金	0
一般財源	0	繰入金	15,537
計	15,537	諸収入	0
		その他	0
備考欄			

農032	項目名	きのこ王国とっとり推進事業費補助金	新規事業
予算書項目	林産物振興対策事業費	ページ	237
年度	R8	所属名	農林水産部 林務水産課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】林務係 0857-30-8311		
款 農林水産業費	【12次総の施策体系】3104		
項 林産業費	【事業の経過及び背景】 本市の特産品である椎茸の生産量は年々減少傾向にあるため、椎茸の生産、出荷、販売を促進する必要がある。		
目 林業振興費	【事業の目的及び効果】 本市の特産品である原木しいたけ等の生産体制の整備、原木の安定確保、労働の安全確保を行う生産者の取組を支援することで、きのこ王国とっりの実現を推進する。また生産者の意欲向上を図り、椎茸産地としての持続的な発展を目指す。		
(単位:千円)	【事業の内容】 (1) 栽培環境整備支援(パイプハウス等の整備に要する経費を助成) 補助率 1/3(県:2/9、市1/9) 101千円 (2) 安全労働確保支援(作業安全と労働力の軽減に要する経費を助成) 補助率 1/2(県:1/3、市1/6) 45千円 (3) 新規生産者施設整備支援(乾燥機、スライサーの導入に要する経費を助成) 補助率 1/3(県:2/9、市1/9) 570千円		
前年度当初予算額	1,070	【事業の実績】 令和7年度 1,070千円(見込み)	
本年度要求額	716	【その他財源の内訳】	
総務部長段階査定額	716	分担金	0
市長段階査定額	716	負担金	0
区分	本年度予算額	使用料	0
財源内訳		手数料	0
国・県支出金	477	財産収入	0
地方債	0	寄付金	0
その他	0	繰入金	0
一般財源	239	諸収入	0
計	716	その他	0
備考欄			

農033	項目名	危険木等事前伐採推進事業費	新規事業
予算書項目	危険木等事前伐採推進事業費	ページ	239
年度	R8	所属名 農林水産部 林務水産課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】林務係 0857-30-8311		
款 農林水産業費	【12次総の施策体系】3104		
項 林産業費	【事業の経過及び背景】 令和5年1月の大雪により倒木による孤立集落が発生した。そのような事態を未然に防止するため、手入れの行き届いていない森林の適正な管理の促進を図る必要がある。		
目 林業振興費	【事業の目的及び効果】 鳥取県、市町村、通信事業者等により構成される「倒木被害防災・減災対策連絡会」において危険木の予防的事前伐採等が必要と判断された箇所の予備伐採の実施に対する支援を行い、倒木に起因する集落の孤立・停電・通信障害等の発生による住民生活への影響の軽減及び森林所有者等による森林の適正な管理の推進を図る。		
(単位:千円)	【事業の内容】 「倒木被害防災・減災対策連絡会」において危険木の予防的伐採等が必要とされた地域森林計画の対象森林内にある危険木の伐採、除去、処分を行う森林所有者、森林管理者等に対し、県の補助事業を活用し、支援を行う。 補助率 10/10 (鳥取県危険木等事前伐採補助金 補助率1/2, 上限1,000千円/所)		
前年度当初予算額	5,500	【事業の実績】 令和5年度 450千円 令和6年度 3,723千円 令和7年度 5,500千円 (見込み)	
本年度要求額	6,723	※その他財源の繰入金は、森林環境譲与税基金繰入金	
総務部長段階査定額	6,723	【事業の内容】 「倒木被害防災・減災対策連絡会」において危険木の予防的伐採等が必要とされた地域森林計画の対象森林内にある危険木の伐採、除去、処分を行う森林所有者、森林管理者等に対し、県の補助事業を活用し、支援を行う。 補助率 10/10 (鳥取県危険木等事前伐採補助金 補助率1/2, 上限1,000千円/所)	
市長段階査定額	6,723	【事業の実績】 令和5年度 450千円 令和6年度 3,723千円 令和7年度 5,500千円 (見込み)	
区分	本年度予算額	【事業の内容】 「倒木被害防災・減災対策連絡会」において危険木の予防的伐採等が必要とされた地域森林計画の対象森林内にある危険木の伐採、除去、処分を行う森林所有者、森林管理者等に対し、県の補助事業を活用し、支援を行う。 補助率 10/10 (鳥取県危険木等事前伐採補助金 補助率1/2, 上限1,000千円/所)	
財源内訳		【事業の実績】 令和5年度 450千円 令和6年度 3,723千円 令和7年度 5,500千円 (見込み)	
国・県支出金	2,000	【事業の内容】 「倒木被害防災・減災対策連絡会」において危険木の予防的伐採等が必要とされた地域森林計画の対象森林内にある危険木の伐採、除去、処分を行う森林所有者、森林管理者等に対し、県の補助事業を活用し、支援を行う。 補助率 10/10 (鳥取県危険木等事前伐採補助金 補助率1/2, 上限1,000千円/所)	
地方債	0	【事業の実績】 令和5年度 450千円 令和6年度 3,723千円 令和7年度 5,500千円 (見込み)	
その他	4,723	【事業の内容】 「倒木被害防災・減災対策連絡会」において危険木の予防的伐採等が必要とされた地域森林計画の対象森林内にある危険木の伐採、除去、処分を行う森林所有者、森林管理者等に対し、県の補助事業を活用し、支援を行う。 補助率 10/10 (鳥取県危険木等事前伐採補助金 補助率1/2, 上限1,000千円/所)	
一般財源	0	【事業の実績】 令和5年度 450千円 令和6年度 3,723千円 令和7年度 5,500千円 (見込み)	
計	6,723	【事業の内容】 「倒木被害防災・減災対策連絡会」において危険木の予防的伐採等が必要とされた地域森林計画の対象森林内にある危険木の伐採、除去、処分を行う森林所有者、森林管理者等に対し、県の補助事業を活用し、支援を行う。 補助率 10/10 (鳥取県危険木等事前伐採補助金 補助率1/2, 上限1,000千円/所)	
備考欄			

農034	項目名	木材利用促進事業費補助金	新規事業
予算書項目	木材利用促進事業費補助金	ページ	239
年度	R8	所属名 農林水産部 林務水産課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】林務係 0857-30-8311		
款 農林水産業費	【12次総の施策体系】3104		
項 林産業費	【事業の経過及び背景】 地元産木材の利用促進及び森林整備の推進を図る。		
目 林業振興費	【事業の目的及び効果】 民間における非住宅建築物の木質化等を支援し木材の利用促進を図る。また、木材利用により間伐などの森林整備の推進を図る。		
(単位:千円)	【事業の内容】 民間の非住宅建築物の木質化に係る経費を一部補助 県産材の使用量・経費をもとに1件当たり 補助上限100万円 全体事業費500万円 (5事業者) 事業実施年度 令和7年度～令和9年度		
前年度当初予算額	10,000	【事業の実績】 令和7年度 1件 (見込み)	
本年度要求額	5,000	【事業の内容】 民間の非住宅建築物の木質化に係る経費を一部補助 県産材の使用量・経費をもとに1件当たり 補助上限100万円 全体事業費500万円 (5事業者) 事業実施年度 令和7年度～令和9年度	
総務部長段階査定額	5,000	【事業の実績】 令和7年度 1件 (見込み)	
市長段階査定額	5,000	【事業の内容】 民間の非住宅建築物の木質化に係る経費を一部補助 県産材の使用量・経費をもとに1件当たり 補助上限100万円 全体事業費500万円 (5事業者) 事業実施年度 令和7年度～令和9年度	
区分	本年度予算額	【事業の実績】 令和7年度 1件 (見込み)	
財源内訳		【事業の内容】 民間の非住宅建築物の木質化に係る経費を一部補助 県産材の使用量・経費をもとに1件当たり 補助上限100万円 全体事業費500万円 (5事業者) 事業実施年度 令和7年度～令和9年度	
国・県支出金	2,500	【事業の実績】 令和7年度 1件 (見込み)	
地方債	0	【事業の内容】 民間の非住宅建築物の木質化に係る経費を一部補助 県産材の使用量・経費をもとに1件当たり 補助上限100万円 全体事業費500万円 (5事業者) 事業実施年度 令和7年度～令和9年度	
その他	0	【事業の実績】 令和7年度 1件 (見込み)	
一般財源	2,500	【事業の内容】 民間の非住宅建築物の木質化に係る経費を一部補助 県産材の使用量・経費をもとに1件当たり 補助上限100万円 全体事業費500万円 (5事業者) 事業実施年度 令和7年度～令和9年度	
計	5,000	【事業の実績】 令和7年度 1件 (見込み)	
備考欄			

農035	項目名	水産資源維持増殖事業費	新規事業
予算書項目	水産資源維持増殖事業費	ページ	239
年度	R8	所属名	農林水産部 林務水産課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】水産漁港係 0857-30-8312		
款 農林水産業費	【12次総の施策体系】3104		
項 水産業費	【事業の経過及び背景】 千代川、湖山池は市民にとって身近な水辺空間であるとともに、内水面漁業の漁場であり、それらの機能維持を図るため、内水面漁業協同組合が行う放流に要する経費を助成してきた。		
目 水産業振興費	【事業の目的及び効果】 水産資源の維持増殖による内水面漁業の振興及び千代川・湖山池流域の地域振興やレクリエーション機会の増大に寄与する。		
(単位:千円)	【事業の内容】 鮎などの内水面水産資源の維持増殖等を図る放流事業に対し助成する。 実施主体：千代川漁業協同組合、湖山池漁業協同組合、市 事業費：千代川流域 淡水魚放流事業等 5,400千円 千代川漁業振興対策事業 400千円 ふれあい放流事業 79千円 湖山池流域 湖山池漁業振興対策事業 400千円		
前年度当初予算額	12,398	【事業の実績】 令和5年度 11,630千円 令和6年度 11,730千円 令和7年度 6,268千円(見込み)	
本年度要求額	6,279	※その他の財源の諸収入は、鳥取県魚の豊かな川づくり基金助成金	
総務部長段階査定額	6,279	【事業の目的及び効果】 水産資源の維持増殖による内水面漁業の振興及び千代川・湖山池流域の地域振興やレクリエーション機会の増大に寄与する。	
市長段階査定額	6,279	【事業の内容】 鮎などの内水面水産資源の維持増殖等を図る放流事業に対し助成する。 実施主体：千代川漁業協同組合、湖山池漁業協同組合、市 事業費：千代川流域 淡水魚放流事業等 5,400千円 千代川漁業振興対策事業 400千円 ふれあい放流事業 79千円 湖山池流域 湖山池漁業振興対策事業 400千円	
区分	本年度予算額	【事業の実績】 令和5年度 11,630千円 令和6年度 11,730千円 令和7年度 6,268千円(見込み)	
財源内訳	0	※その他の財源の諸収入は、鳥取県魚の豊かな川づくり基金助成金	
国・県支出金	0		
地方債	0		
その他	39		
一般財源	6,240		
計	6,279		
備考欄			

農036	項目名	漁業経営開始円滑化事業費	新規事業
予算書項目	漁業経営開始円滑化事業費	ページ	239
年度	R8	所属名	農林水産部 林務水産課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】水産漁港係 0857-30-8312		
款 農林水産業費	【12次総の施策体系】3104		
項 水産業費	【事業の経過及び背景】 漁業後継者の不足の一因として、漁業の専業経営を目指す新規就業者が新たに着業する際、漁船等の初期投資に多大な費用を要することがあげられる。		
目 水産業振興費	【事業の目的及び効果】 漁業就業時に必要な漁船等の初期投資に対して助成することにより、漁業の新規就労者の円滑な確保を実現する。		
(単位:千円)	【事業の内容】 漁協が漁船、漁具等を購入し、新規就労者にリースする費用への補助。 事業実施主体：鳥取県漁業協同組合 補助率：2/3(県1/2、市1/6) 対象者：1名(浜村) [2回目] 事業費：436千円(漁具)		
前年度当初予算額	2,290	【事業の実績】 令和5年度 31,094千円 対象者4名 漁船1隻ほか機器等 令和6年度 18,668千円(繰越) 対象者1名 漁船1隻ほか機器等 令和7年度 14,864千円(見込み) 対象者2名 漁船1隻ほか機器等	
本年度要求額	291		
総務部長段階査定額	291		
市長段階査定額	291		
区分	本年度予算額		
財源内訳	217		
国・県支出金	0		
地方債	0		
その他	0		
一般財源	74		
計	291		
備考欄			

農037	項目名	漁港施設維持管理事業費	新規事業
予算書項目	漁港施設維持管理事業費	ページ	239
年度	R8	所属名 農林水産部 林務水産課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】水産漁港係 0857-30-8312		
款 農林水産業費	【12次総の施策体系】3104		
項 水産業費	【事業の経過及び背景】 平成12年度、鳥取県から第1種漁港である岩戸漁港（福部町）、酒津漁港・船磯漁港（気高町）、夏泊漁港・長和瀬漁港（青谷町）の5漁港が譲渡され、鳥取市管理の漁港は青谷漁港と合わせて6漁港となった。		
目 水産業振興費	【事業の目的及び効果】 第1種漁港の管理者として、漁港及び関連施設の維持管理を行い、安全安心な漁業経営に寄与する。		
(単位:千円)	【事業の内容】 漁港施設維持管理（光熱水費、維持修繕費等）一式 福部地域 2,316千円 気高地域 46,757千円 青谷地域 9,257千円		
前年度当初予算額	64,083	【事業の実績】 令和5年度 50,856千円 令和6年度 69,450千円 令和7年度 64,083千円（見込み）	
本年度要求額	79,498	※その他財源の使用料は、漁港施設占用料	
総務部長段階査定額	58,330	【その他財源の内訳】	
市長段階査定額	58,330	分担金	0
区分	本年度予算額	負担金	0
財源内訳		使用料	3,392
国・県支出金	10,219	手数料	0
地方債	0	財産収入	0
その他	3,392	寄付金	0
一般財源	44,719	繰入金	0
計	58,330	諸収入	0
		その他	0
備考欄			

農038	項目名	栽培漁業推進支援事業費	新規事業
予算書項目	栽培漁業推進支援事業費	ページ	239
年度	R8	所属名 農林水産部 林務水産課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】水産漁港係 0857-30-8312		
款 農林水産業費	【12次総の施策体系】3104		
項 水産業費	【事業の経過及び背景】 本市は県と連携しながら栽培漁業を推進し、水産物の安定供給・地域振興に資するため、漁業者が行う種苗放流事業に助成してきた。		
目 水産業振興費	【事業の目的及び効果】 漁場再生、漁業振興及び漁村の活性化のため、稚貝放流等の経費を助成し漁獲量の増加を図る。		
(単位:千円)	【事業の内容】 放流種苗等 アワビ23,100個、サザエ46,000個、キジハタ10,032尾 事業費 1,206千円（内市助成額540千円）		
前年度当初予算額	1,213	【事業の実績】 ・種苗放流等 令和5年度 1,122千円 令和6年度 1,169千円 令和7年度 1,213千円（見込み）	
本年度要求額	1,206	【その他財源の内訳】	
総務部長段階査定額	1,206	分担金	0
市長段階査定額	1,206	負担金	0
区分	本年度予算額	使用料	0
財源内訳		手数料	0
国・県支出金	666	財産収入	0
地方債	0	寄付金	0
その他	0	繰入金	0
一般財源	540	諸収入	0
計	1,206	その他	0
備考欄			

農039	項目名	漁港施設機能保全事業費	新規事業
予算書項目	漁港建設事業費	ページ	239
年度	R8	所属名 農林水産部 林務水産課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】水産漁港係 0857-30-8312		
款 農林水産業費	【12次総の施策体系】3104		
項 水産業費	【事業の経過及び背景】 平成12年度、鳥取県から第1種漁港である岩戸漁港（福部町）、酒津漁港・船磯漁港（気高町）、夏泊漁港・長瀬漁港（青谷町）の5漁港が譲渡され、鳥取市管理の漁港は青谷漁港と合わせて6漁港となった。		
目 水産業振興費	【事業の目的及び効果】 本市の第1種漁港は、近年、老朽化に伴い更新等が必要な漁港施設が増加している。施設の維持管理を体系的に捉え、計画的に更新することにより、施設の長寿命化を図りつつ更新コストの平準化・縮減を図る。		
(単位:千円)	【事業の内容】 漁港施設機能保全計画に定めた対策工事、委託業務を実施する。 ・夏泊漁港機能保全計画見直し委託（基本施設） 27,000千円		
前年度当初予算額	22,600	【事業の実績】 令和5年度 80,526千円（繰越含む） 船磯・夏泊漁港機能保全工事 酒津漁港機能保全計画見直し業務 令和6年度 106,128千円（繰越含む） 酒津・船磯・夏泊漁港機能保全工事 令和7年度 22,400千円（繰越含む）（見込み） 酒津・船磯・夏泊漁港機能保全工事	
本年度要求額	181,850		
総務部長段階査定額	27,000	【事業の内訳】	
市長段階査定額	27,000	分担金 0 負担金 0 使用料 0 手数料 0 財産収入 0 寄付金 0 繰入金 0 諸収入 0 その他 0	
区分	本年度予算額		
財源内訳	計 27,000		
国・県支出金	13,500		
地方債	13,500		
その他	0		
一般財源	0		
備考欄			

農040	項目名	港整備推進事業費	新規事業
予算書項目	漁港建設事業費	ページ	239
年度	R8	所属名 農林水産部 林務水産課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】水産漁港係 0857-30-8312		
款 農林水産業費	【12次総の施策体系】3104		
項 水産業費	【事業の経過及び背景】 本市の第1種漁港は、近年、漁港施設の老朽化や航路泊地の埋塞による出漁機会の減少により、水産物の安定的な生産・流通に支障が生じ、地元市場や飲食店、道の駅等への影響が懸念されている。		
目 水産業振興費	【事業の目的及び効果】 このため、本市漁港及び近隣港湾・漁港（鳥取県・岩美町）を一体的に整備することにより、水産物の安定的な生産・流通及び利用者の利便性向上を図る。		
(単位:千円)	【事業の内容】 地方創生港整備推進交付金地域再生計画に定めた対策工事を実施する。 ・岩戸漁港立入防止柵整備工事 1,000千円 ・船磯漁港照明施設改修工事 2,000千円 ・夏泊漁港照明施設改修ほか工事 3,450千円 ・長瀬漁港照明施設改修工事 12,000千円		
前年度当初予算額	19,075	【事業の実績】 令和5年度 実績なし 令和6年度 17,520千円（繰越含む） 令和7年度 18,550千円（見込み）	
本年度要求額	18,975		
総務部長段階査定額	18,975	【事業の内訳】	
市長段階査定額	18,975	分担金 0 負担金 0 使用料 0 手数料 0 財産収入 0 寄付金 0 繰入金 0 諸収入 0 その他 0	
区分	本年度予算額		
財源内訳	計 18,975		
国・県支出金	9,225		
地方債	9,500		
その他	0		
一般財源	250		
備考欄			

農041	項目名	漁業研修事業費	新規事業																				
予算書項目	漁業振興対策事業費	ページ	239																				
年度	R8	所属名 農林水産部 林務水産課																					
会計名	事業の概要																						
一般会計	【問合せ先】水産漁港係 0857-30-8312																						
款 農林水産業費	【12次総の施策体系】3104																						
項 水産業費	【事業の経過及び背景】 現在、漁業就労者は減少傾向にあり、また高齢化も進行していることから将来の漁業者の不足が懸念されている。また、新規に漁業への就業を希望する者はほとんど漁業経験がなく新たに漁業に従事するためには漁業技術の研修が必要である。																						
目 水産業振興費	【事業の目的及び効果】 漁業経営体・漁協等が漁業就業希望者に対し、漁業技術等の研修を実施することにより、新規就業者の円滑な確保及び雇用機会の創出を図る。																						
(単位:千円)	【事業の内容】 新規漁業就業希望者へ漁業技術や経営方法等習得のために行う研修に必要な費用を助成する。																						
前年度当初予算額	8,053	事業実施主体：漁業経営体、漁協等 事業対象漁業種：沿岸漁業、沖合底びき網漁業 雇用予定者：4名（新規・雇用型2名、継続・雇用型1名、継続・独立型1名） 事業費：7,778千円（県：6,928千円、市：850千円）																					
本年度要求額	7,778	【事業の実績】 令和5年度 9,973千円 対象者7名 令和6年度 3,754千円 対象者3名 令和7年度 8,053千円（見込み） 対象者3名																					
総務部長段階査定額	7,778	【事業の内訳】																					
市長段階査定額	7,778	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">其他財源の内訳</th> </tr> <tr> <td>分担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>負担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>使用料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>手数料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>財産収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>寄付金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>繰入金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>諸収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> </table>		其他財源の内訳		分担金	0	負担金	0	使用料	0	手数料	0	財産収入	0	寄付金	0	繰入金	0	諸収入	0	その他	0
其他財源の内訳																							
分担金	0																						
負担金	0																						
使用料	0																						
手数料	0																						
財産収入	0																						
寄付金	0																						
繰入金	0																						
諸収入	0																						
その他	0																						
区分	本年度予算額																						
財源内訳																							
国・県支出金	6,928																						
地方債	0																						
その他	0																						
一般財源	850																						
計	7,778																						
備考欄																							

農042	項目名	港へGO！海業で浜のにぎわい創出事業費	新規事業																				
予算書項目	港へGO！海業で浜のにぎわい創出事業費	ページ	239																				
年度	R8	所属名 農林水産部 林務水産課																					
会計名	事業の概要																						
一般会計	【問合せ先】水産漁港係 0857-30-8312																						
款 農林水産業費	【12次総の施策体系】3104																						
項 水産業費	【事業の経過及び背景】 地魚の魅力発信や船磯漁港来訪者を増加させ、域外者との積極的な交流の場とすることで、地域活性化とともに賑わいを創出する必要がある。																						
目 水産業振興費	【事業の目的及び効果】 鳥取市気高町遊漁センターを中心に地域のコミュニティと地魚を楽しむ拠点として、県漁協や漁師、さらに地域の人々などと連携して新たな魚食普及と港を活性化する事業を展開する。																						
(単位:千円)	【事業の内容】 補助対象経費：海業に係る勉強会、海業コンテンツの創出、勉強会、情報発信等 事業実施主体：魚っとりお魚LAB（鳥取市気高町遊漁センター指定管理者） 補助率：2/3（県1/3、市1/3） 事業費：2,700千円×2/3=1,800千円																						
前年度当初予算額	0	【事業の実績】 令和7年度 1,500千円（見込み）																					
本年度要求額	1,800																						
総務部長段階査定額	1,800	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">其他財源の内訳</th> </tr> <tr> <td>分担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>負担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>使用料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>手数料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>財産収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>寄付金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>繰入金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>諸収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> </table>		其他財源の内訳		分担金	0	負担金	0	使用料	0	手数料	0	財産収入	0	寄付金	0	繰入金	0	諸収入	0	その他	0
其他財源の内訳																							
分担金	0																						
負担金	0																						
使用料	0																						
手数料	0																						
財産収入	0																						
寄付金	0																						
繰入金	0																						
諸収入	0																						
その他	0																						
市長段階査定額	1,800																						
区分	本年度予算額																						
財源内訳																							
国・県支出金	900																						
地方債	0																						
その他	0																						
一般財源	900																						
計	1,800																						
備考欄																							

農O43	項目名	補助災害復旧費【令和5年台風第7号関連】	新規事業
予算書項目	過年発生災害復旧費	ページ	291
年度	R8	所属名 農林水産部 林務水産課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】林務係 0857-30-8311		
款 災害復旧費	【12次総の施策体系】3104		
項 災害復旧費	【事業の経過及び背景】 令和5年8月発生 of 台風第7号の災害により、法面崩落等の被害を受けたため、早急な対応が必要となった。		
目 農林水産業施設災害復旧費	【事業の目的及び効果】 林道利用者の安全の確保及び林業経営への影響を最小限に抑えるため、早期に災害からの復旧を図る。		
(単位:千円)	【事業の内容】 被災した林道の復旧工事を行う。 ・林道三滝線 63,155千円 ・林道若桜江府線 193,180千円		
前年度当初予算額	69,668	【事業の実績】 令和6年度(現年) ・林道鳥取中央線・林道毛無山線・林道福地荒船線・林道佐谷小畑線・林道若桜江府線 ・林道三滝線 令和6年度(繰越) ・林道鳥取中央線・林道毛無山線・林道安蔵線・林道若桜江府線・林道三滝線・林道兵円山線・林道権田ヶ谷線・林道セバ谷線・林道森上げ線 令和7年度(現年) ・林道若桜江府線・林道三滝線	
本年度要求額	266,469		
総務部長段階査定額	259,269	【事業の内訳】	
市長段階査定額	259,269	分担金 0 負担金 0 使用料 0 手数料 0 財産収入 0 寄付金 0 繰入金 0 諸収入 0 その他 0	
区分	本年度予算額		
財源内訳	国・県支出金 255,309		
	地方債 3,100		
	その他 0		
	一般財源 860		
	計 259,269		
備考欄			

農O44	項目名	単独災害復旧費【令和5年台風第7号関連】	新規事業
予算書項目	過年発生災害復旧費	ページ	291
年度	R8	所属名 農林水産部 林務水産課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】林務係 0857-30-8311		
款 災害復旧費	【12次総の施策体系】3104		
項 災害復旧費	【事業の経過及び背景】 令和5年8月発生 of 台風第7号の災害により、法面崩落等の被害を受けたため、早急な対応が必要となった。		
目 農林水産業施設災害復旧費	【事業の目的及び効果】 林道利用者の安全の確保及び林業経営への影響を最小限に抑えるため、早期に災害からの復旧を図る。		
(単位:千円)	【事業の内容】 被災した林道の復旧事業を行う。 (1) 土砂撤去等災害復旧業務(補助対象外) ・CATV設備移転業務 140千円 ・林道三滝線 2,500千円 ・林道若桜江府線 2,000千円 (2) 路肩等改修工事(補助対象外) ・林道兵円山線 360千円 ・林道三滝線 3,200千円 ・林道若桜江府線 5,850千円		
前年度当初予算額	99,357	【事業の実績】 令和5年度 230,604千円 令和6年度 3,415千円 令和7年度 123,389千円(繰越含む)(見込み)	
本年度要求額	15,053		
総務部長段階査定額	15,053	【事業の内訳】	
市長段階査定額	15,053	分担金 0 負担金 0 使用料 0 手数料 0 財産収入 0 寄付金 0 繰入金 0 諸収入 0 その他 0	
区分	本年度予算額		
財源内訳	国・県支出金 0		
	地方債 15,000		
	その他 0		
	一般財源 53		
	計 15,053		
備考欄			

農045	項目名	水道事業会計へ繰出	新規事業
予算書項目	水道事業会計へ繰出	ページ	227
年度	R8	所属名 農林水産部 農村整備課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】総務係 0857-30-8316		
款 衛生費	【12次総の施策体系】3401		
項 他会計繰出	【事業の経過及び背景】 地方公営企業法に基づくもの及び簡易水道事業統合後の負担に関する繰出。		
目 水道事業会計へ繰出	【事業の目的及び効果】 一般会計からの繰出により鳥取市水道局の行う事業の下支えを図る。		
(単位:千円)	【事業の内容】 ・水道事業会計への繰出金 繰出金 1,091,300千円		
前年度当初予算額	980,825	【事業の実績】 令和5年度 1,123,580千円 令和6年度 1,059,381千円 令和7年度 980,825千円(見込み)	
本年度要求額	1,095,200	【事業の実績】 令和5年度 1,123,580千円 令和6年度 1,059,381千円 令和7年度 980,825千円(見込み)	
総務部長段階査定額	1,091,300	【事業の実績】 令和5年度 1,123,580千円 令和6年度 1,059,381千円 令和7年度 980,825千円(見込み)	
市長段階査定額	1,091,300	【事業の実績】 令和5年度 1,123,580千円 令和6年度 1,059,381千円 令和7年度 980,825千円(見込み)	
区分	本年度予算額	【事業の実績】 令和5年度 1,123,580千円 令和6年度 1,059,381千円 令和7年度 980,825千円(見込み)	
財源内訳	本年度予算額	【事業の実績】 令和5年度 1,123,580千円 令和6年度 1,059,381千円 令和7年度 980,825千円(見込み)	
国・県支出金	0	【事業の実績】 令和5年度 1,123,580千円 令和6年度 1,059,381千円 令和7年度 980,825千円(見込み)	
地方債	65,300	【事業の実績】 令和5年度 1,123,580千円 令和6年度 1,059,381千円 令和7年度 980,825千円(見込み)	
その他	0	【事業の実績】 令和5年度 1,123,580千円 令和6年度 1,059,381千円 令和7年度 980,825千円(見込み)	
一般財源	1,026,000	【事業の実績】 令和5年度 1,123,580千円 令和6年度 1,059,381千円 令和7年度 980,825千円(見込み)	
計	1,091,300	【事業の実績】 令和5年度 1,123,580千円 令和6年度 1,059,381千円 令和7年度 980,825千円(見込み)	
備考欄			

農046	項目名	環境保全型農業直接支払交付金	新規事業
予算書項目	環境保全型農業直接支払交付金	ページ	231
年度	R8	所属名 農林水産部 農村整備課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】総務係 0857-30-8316		
款 農林水産業費	【12次総の施策体系】3104		
項 農業費	【事業の経過及び背景】 農業の持続的発展と多面的機能の健全な発揮を図るため事業を実施。		
目 農業振興費	【事業の目的及び効果】 有機農業または鳥取県が定める「鳥取県特別栽培慣行基準値」から原則5割以上の化学肥料・化学合成農薬を低減して行う営農活動を支援する。 環境保全に効果の高い営農活動に対して支援することで、地球温暖化防止及び生物多様性保全を図る。		
(単位:千円)	【事業の内容】 ・環境保全型農業直接支払交付金 対象:9組織(6,772a) 交付額:6,058千円(国50%、県25%、市25%) ・事業推進事務費		
前年度当初予算額	7,125	【事業の実績】 令和5年度 5,666千円 令和6年度 7,082千円 令和7年度 6,168千円(見込み)	
本年度要求額	6,168	【事業の実績】 令和5年度 5,666千円 令和6年度 7,082千円 令和7年度 6,168千円(見込み)	
総務部長段階査定額	6,168	【事業の実績】 令和5年度 5,666千円 令和6年度 7,082千円 令和7年度 6,168千円(見込み)	
市長段階査定額	6,168	【事業の実績】 令和5年度 5,666千円 令和6年度 7,082千円 令和7年度 6,168千円(見込み)	
区分	本年度予算額	【事業の実績】 令和5年度 5,666千円 令和6年度 7,082千円 令和7年度 6,168千円(見込み)	
財源内訳	本年度予算額	【事業の実績】 令和5年度 5,666千円 令和6年度 7,082千円 令和7年度 6,168千円(見込み)	
国・県支出金	4,653	【事業の実績】 令和5年度 5,666千円 令和6年度 7,082千円 令和7年度 6,168千円(見込み)	
地方債	0	【事業の実績】 令和5年度 5,666千円 令和6年度 7,082千円 令和7年度 6,168千円(見込み)	
その他	0	【事業の実績】 令和5年度 5,666千円 令和6年度 7,082千円 令和7年度 6,168千円(見込み)	
一般財源	1,515	【事業の実績】 令和5年度 5,666千円 令和6年度 7,082千円 令和7年度 6,168千円(見込み)	
計	6,168	【事業の実績】 令和5年度 5,666千円 令和6年度 7,082千円 令和7年度 6,168千円(見込み)	
備考欄			

農O47	項目名	農道舗装補修等事業費	新規事業
予算書項目	農道舗装補修等事業費	ページ	233
年度	R8	所属名 農林水産部 農村整備課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】基盤整備係 0857-30-8317		
款 農林水産業費	【12次総の施策体系】3104		
項 農業費	【事業の経過及び背景】 農業の基礎的な生産基盤である農地の適切な保安全管理や、老朽化した農道、用排水路等の農業用施設全般の整備・補修が求められている。		
目 農地費	【事業の目的及び効果】 農業用施設全般の適正な補修・修繕等をもって、農業環境の整備を行う。		
(単位:千円)	【事業の内容】 老朽化した農業用施設全般の整備及び補修を行う。 対象施設：農業用排水施設、農道、暗渠排水ほか 負担区分：県45%、市40%、地元15%		
前年度当初予算額	45,646	【事業の実績】 令和5年度 35,785千円 令和6年度 28,907千円 令和7年度 45,646千円(見込み)	
本年度要求額	39,599	※その他財源の負担金は、地元負担金	
総務部長段階査定額	35,028	【その他財源の内訳】	
市長段階査定額	35,028	分担金	0
区分	本年度予算額	負担金	3,848
財源内訳		使用料	0
国・県支出金	15,241	手数料	0
地方債	0	財産収入	0
その他	3,848	寄付金	0
一般財源	15,939	繰入金	0
計	35,028	諸収入	0
		その他	0
備考欄			

農O48	項目名	県営事業負担金	新規事業
予算書項目	県営事業負担金	ページ	233
年度	R8	所属名 農林水産部 農村整備課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】総務係 0857-30-8316		
款 農林水産業費	【12次総の施策体系】3104		
項 農業費	【事業の経過及び背景】 鳥取県主体で土地改良事業が行われている。		
目 農地費	【事業の目的及び効果】 事業費の一部を負担することで、事業の促進を図る。		
(単位:千円)	【事業の内容】 県営土地改良事業に対する一部負担 ・県営地域ため池総合整備事業 ・県営農地集積加速化水利事業		
前年度当初予算額	75,941	【事業の実績】 令和5年度 68,512千円 令和6年度 83,075千円 令和7年度 75,941千円(見込み)	
本年度要求額	36,609	※その他財源の負担金は、地元負担金	
総務部長段階査定額	24,900	【その他財源の内訳】	
市長段階査定額	24,900	分担金	0
区分	本年度予算額	負担金	6,000
財源内訳		使用料	0
国・県支出金	0	手数料	0
地方債	18,900	財産収入	0
その他	6,000	寄付金	0
一般財源	0	繰入金	0
計	24,900	諸収入	0
		その他	0
備考欄			

農049	項目名	排水機場維持管理費	新規事業
予算書項目	排水機場維持管理費	ページ	233
年度	R8	所属名 農林水産部 農村整備課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】基盤整備係 0857-30-8317		
款 農林水産業費	【12次総の施策体系】3104		
項 農業費	【事業の経過及び背景】 洪水時の千代川下流域の水位上昇による農地冠水被害を防止するため、ポンプによる排水を行い農地の安全を図る。		
目 農地費	【事業の目的及び効果】 適切な排水施設の管理を行うことで、受益地の効率的な営農活動を支援する。		
(単位:千円)	【事業の内容】 服部排水機場及び西円通寺排水機場の維持管理。 ・通水時の操作点検及び水位監視 ・洪水時、常駐による運転操作等の委託 ・施設の維持管理費、修繕費		
前年度当初予算額	10,750	【事業の実績】 令和5年度 15,840千円 令和6年度 13,604千円 令和7年度 10,750千円(見込み)	
本年度要求額	13,668		
総務部長段階査定額	13,668	【事業の内訳】	
市長段階査定額	13,668	分担金 0 負担金 0 使用料 0 手数料 0 財産収入 0 寄付金 0 繰入金 0 諸収入 0 その他 0	
区分	本年度予算額		
財源内訳	0		
国・県支出金	0		
地方債	0		
その他	0		
一般財源	13,668		
計	13,668		
備考欄			

農050	項目名	農村公園管理費	新規事業
予算書項目	農村公園管理費	ページ	233
年度	R8	所属名 農林水産部 農村整備課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】基盤整備係 0857-30-8317		
款 農林水産業費	【12次総の施策体系】3104		
項 農業費	【事業の経過及び背景】 所管する農村公園について、圍柵や設置遊具等施設については老朽化が進行しており、安全面での不安が地元からあがっている。		
目 農地費	【事業の目的及び効果】 農村公園の安全な利用に資するため維持管理費を計上。		
(単位:千円)	【事業の内容】 ・農村公園の維持管理費 ・農村公園の施設修繕費		
前年度当初予算額	3,890	【事業の実績】 令和5年度 2,343千円 令和6年度 4,539千円 令和7年度 3,890千円(見込み)	
本年度要求額	5,729	※その他財源の使用料は、農林水産業施設使用料 ※その他財源の繰入金は、中山間地域農村活性化基金繰入金	
総務部長段階査定額	3,865	【事業の内訳】	
市長段階査定額	3,865	分担金 0 負担金 0 使用料 260 手数料 0 財産収入 0 寄付金 0 繰入金 996 諸収入 0 その他 0	
区分	本年度予算額		
財源内訳	0		
国・県支出金	0		
地方債	0		
その他	1,256		
一般財源	2,609		
計	3,865		
備考欄			

農051	項目名	農道等維持管理費	新規事業
予算書項目	農道等維持管理費	ページ	233
年度	R8	所属名 農林水産部 農村整備課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】基盤整備係 0857-30-8317		
款 農林水産業費	【12次総の施策体系】3104		
項 農業費	【事業の経過及び背景】 基幹農道等の管理が必要になっている。		
目 農地費	【事業の目的及び効果】 市が管理者として実施すべき農道等の維持管理や安全に関する設置整備等により、利用者の安全な利用を確保する。		
(単位:千円)	【事業の内容】 ・農道等の維持管理費 ・通学路等の安全確保 ・農道簡易修繕消耗品		
前年度当初予算額	3,064	【事業の実績】 令和5年度 1,706千円 令和6年度 5,888千円 令和7年度 5,064千円(見込み)	
本年度要求額	2,700	※その他財源の繰入金は、気高町奥沢見地区湧水対策事業基金繰入金 ※その他財源の諸収入は、飛砂撤去作業外受託収入	
総務部長段階査定額	2,700	その他財源の内訳	
市長段階査定額	2,700	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	159
		諸収入	292
		その他	0
区分	本年度予算額		
財源内訳			
国・県支出金	0		
地方債	0		
その他	451		
一般財源	2,249		
計	2,700		
備考欄			

農052	項目名	多面的機能支払交付金	新規事業
予算書項目	多面的機能支払事業費	ページ	233
年度	R8	所属名 農林水産部 農村整備課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】総務係 0857-30-8316		
款 農林水産業費	【12次総の施策体系】3104		
項 農業費	【事業の経過及び背景】 農村地域の過疎化、高齢化、混住化等の進行に伴う集落機能の低下により、地域の共同活動によって支えられている多面的機能の発揮に支障が生じつつある。		
目 農地費	【事業の目的及び効果】 地域で行う農地維持や農業用施設の点検等の共同活動に対して支援し、農村の有する多面的機能の発揮を促進する。		
(単位:千円)	【事業の内容】 ・多面的機能支払交付金補助金事業 補助対象：129組織(283,083a) 交付額：206,191千円 負担割合：国50%、県25%、市25% ・事業推進事務費(人件費、事務費)		
前年度当初予算額	207,435	【事業の実績】 令和5年度 194,890千円 令和6年度 190,356千円 令和7年度 189,637千円(見込み)	
本年度要求額	209,586	※その他財源の負担金は、八頭町負担金	
総務部長段階査定額	209,586	その他財源の内訳	
市長段階査定額	209,586	分担金	0
		負担金	92
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		諸収入	0
		その他	0
区分	本年度予算額		
財源内訳			
国・県支出金	158,032		
地方債	0		
その他	92		
一般財源	51,462		
計	209,586		
備考欄			

農053	項目名	みんなで取り組む農山村保全活動支援事業費		新規事業
予算書項目	みんなで取り組む農山村保全活動支援事業費		ページ	233
年度	R8		所属名 農林水産部 農村整備課	
会計名			事業の概要 【問合せ先】総務係 0857-30-8316 【12次総の施策体系】3104 【事業の経過及び背景】 集落・地域だけでは農業生産基盤の維持管理が困難となってきた地域が増加しており、閉塞感も高まっている。 【事業の目的及び効果】 集落・地域と自治会・企業等との協働による地域振興活動に対し、補助金を交付することで、農業・農村の保全意識を高める。 【事業の内容】 ・鳥取市共生の里加速化促進事業 補助対象：国府町楠城、気高町殿 交付額：300千円/年 財源：県2/3、市1/3 【事業の実績】 令和5年度 1,200千円 令和6年度 1,069千円 令和7年度 1,200千円（見込み）	
一般会計				
款	農林水産業費			
項	農業費			
目	農地費			
(単位:千円)				
前年度当初予算額	1,800			
本年度要求額	600			
総務部長段階査定額	600		その他財源の内訳 分担金 0 負担金 0 使用料 0 手数料 0 財産収入 0 寄付金 0 繰入金 0 諸収入 0 その他 0	
市長段階査定額	600			
区分	本年度予算額			
財源内訳	国・県支出金	400		
	地方債	0		
	その他	0		
	一般財源	200		
	計	600		
備考欄				

農054	項目名	農業水利施設保全高度化事業費		新規事業
予算書項目	農業水利施設保全高度化事業費		ページ	233
年度	R8		所属名 農林水産部 農村整備課	
会計名			事業の概要 【問合せ先】基盤整備係 0857-30-8317 【12次総の施策体系】3104 【事業の経過及び背景】 農業の基礎的な生産基盤である農地の適切な保全管理や、老朽化した農道、用排水路等の農業用施設全般の整備・補修が求められる。 【事業の目的及び効果】 長寿命化対策に資する農業用排水施設等の整備を行うことで、効率的な農業運営・管理を実現する。 【事業の内容】 ・樋門改修工事 2か所（高住、本高） ・樋門更新実施設計業務 1か所（江津） ・排水機場機能保全計画策定業務 1か所（西円通寺） 【事業の実績】 令和5年度 4,114千円 令和6年度 17,309千円 令和7年度 4,500千円（見込み） ※その他財源の負担金は、地元負担金	
一般会計				
款	農林水産業費			
項	農業費			
目	農地費			
(単位:千円)				
前年度当初予算額	4,500			
本年度要求額	32,000			
総務部長段階査定額	32,000		その他財源の内訳 分担金 0 負担金 2,700 使用料 0 手数料 0 財産収入 0 寄付金 0 繰入金 0 諸収入 0 その他 0	
市長段階査定額	32,000			
区分	本年度予算額			
財源内訳	国・県支出金	24,680		
	地方債	4,000		
	その他	2,700		
	一般財源	620		
	計	32,000		
備考欄				

農055	項目名	危険ため池廃止事業費	新規事業
予算書項目	ため池関連事業費	ページ	233
年度	R8	所属名 農林水産部 農村整備課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】基盤整備係 0857-30-8317		
款 農林水産業費	【12次総の施策体系】3104		
項 農業費	【事業の経過及び背景】 平成30年7月豪雨では、広島県を中心として32か所のため池が決壊し、ため池の下流に大きな被害を与えた。ハード・ソフト両面からの災害に強い地域づくりを推進する必要がある。		
目 農地費	【事業の目的及び効果】 使われていない危険ため池を廃止し、地域の防災・減災対策を図る。		
(単位:千円)	【事業の内容】 未利用の防災重点ため池について、地元から要望のあるものを廃止する。 ・ため池廃止工事 18,000千円 (菫蒲谷池) ・ため池廃止測量設計業務 3,000千円 (湯谷池(美和地区))		
前年度当初予算額	11,000	【事業の実績】 令和5年度 8,000千円 (全額繰越) 令和6年度 13,943千円 令和7年度 11,000千円 (見込み)	
本年度要求額	21,061		
総務部長段階査定額	21,061	【事業の内訳】	
市長段階査定額	21,061	分担金 0 負担金 0 使用料 0 手数料 0 財産収入 0 寄付金 0 繰入金 0 諸収入 0 その他 0	
区分	本年度予算額		
財源内訳	国・県支出金	21,061	
	地方債	0	
	その他	0	
	一般財源	0	
	計	21,061	
備考欄			

農056	項目名	ため池改修事業費	新規事業
予算書項目	ため池関連事業費	ページ	233
年度	R8	所属名 農林水産部 農村整備課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】基盤整備係 0857-30-8317		
款 農林水産業費	【12次総の施策体系】3104		
項 農業費	【事業の経過及び背景】 近年、豪雨等によりため池等の決壊による被害が相次いでいる。平成25年のため池一斉点検調査において、豪雨耐性等が不足しているため池について対策整備を行う。		
目 農地費	【事業の目的及び効果】 該当ため池を防災工事することにより、災害時での危険を未然に防止する。		
(単位:千円)	【事業の内容】 ・ため池の改修工事 実施箇所：湯谷池(倭文地区) 実施期間：令和6年度～令和8年度 総事業費：112,600千円 令和8年度：改修工事 68,000千円 (国55%、県25%、市20%) ・ため池改修工事実施計画策定業務 実施箇所：新城寺池(玉津地区) 令和8年度：実施計画策定業務 17,000千円 (国100%)		
前年度当初予算額	24,600	【事業の実績】 令和5年度 14,250千円 令和6年度 19,920千円 令和7年度 24,600千円 (見込み)	
本年度要求額	86,258		
総務部長段階査定額	86,258	【事業の内訳】	
市長段階査定額	86,258	分担金 0 負担金 0 使用料 0 手数料 0 財産収入 0 寄付金 0 繰入金 0 諸収入 0 その他 0	
区分	本年度予算額		
財源内訳	国・県支出金	71,400	
	地方債	14,800	
	その他	0	
	一般財源	58	
	計	86,258	
備考欄			

農057	項目名	ため池監視システム管理費	新規事業
予算書項目	ため池関連事業費	ページ	233
年度	R8	所属名 農林水産部 農村整備課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】基盤整備係 0857-30-8317		
款 農林水産業費	【12次総の施策体系】3104		
項 農業費	【事業の経過及び背景】 ため池の下流域では、豪雨時の浸水リスクが高く、決壊した際の被害も甚大なため、早急な避難が求められる。また、農業用ため池の管理はほとんどが地元によって行われている実情があり、雨中での作業は大変危険なものとなっている。		
目 農地費	【事業の目的及び効果】 遠隔でため池の情報を得ることができる監視システムを導入することで、災害時の迅速な対応を行える。		
(単位:千円)	【事業の内容】 ・ため池監視システムの維持経費 21か所 各59,994円/年 負担区分:国50%、県25%、市25%		
前年度当初予算額	1,260	【事業の実績】 令和5年度 180千円 令和6年度 960千円 令和7年度 1,260千円(見込み)	
本年度要求額	1,260		
総務部長段階査定額	1,260	【事業の内訳】	
市長段階査定額	1,260	分担金 0 負担金 0 使用料 0 手数料 0 財産収入 0 寄付金 0 繰入金 0 諸収入 0 その他 0	
区分	本年度予算額		
財源内訳	国・県支出金 945		
	地方債 0		
	その他 0		
	一般財源 315		
	計 1,260		
備考欄			

農058	項目名	中山間地域等直接支払交付金	新規事業
予算書項目	中山間地域等直接支払事業費	ページ	235
年度	R8	所属名 農林水産部 農村整備課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】総務係 0857-30-8316		
款 農林水産業費	【12次総の施策体系】3104		
項 農業費	【事業の経過及び背景】 農業の生産条件が不利な地域における耕作放棄地の増加が懸念されている。		
目 農業構造改善事業費	【事業の目的及び効果】 農業の生産条件が不利な地域において、農業生産に必要な水路や農道の維持管理等に關する活動を支援することで、耕作放棄地の発生を防止し、多面的機能を確保する。		
(単位:千円)	【事業の内容】 ・中山間地域等直接支払交付金 補助対象:102組織(70,033a) 交付額:87,738千円 負担区分:国50%、県25%、市25%(三法地域) 国33%、県33%、市34%(特認地域)		
前年度当初予算額	107,415	【事業の実績】 令和5年度 106,381千円 令和6年度 106,185千円 令和7年度 89,597千円(見込み)	
本年度要求額	89,267		
総務部長段階査定額	89,267	【事業の内訳】	
市長段階査定額	89,267	分担金 0 負担金 0 使用料 0 手数料 0 財産収入 0 寄付金 0 繰入金 0 諸収入 0 その他 0	
区分	本年度予算額		
財源内訳	国・県支出金 66,368		
	地方債 0		
	その他 0		
	一般財源 22,899		
	計 89,267		
備考欄			

農059	項目名	補助災害復旧費【令和5年台風第7号関連】	新規事業
------	-----	----------------------	------

予算書項目	過年発生災害復旧費	ページ	291
-------	-----------	-----	-----

所属名	農林水産部 農村整備課
-----	----------------

年度	R8
----	----

会計名	
一般会計	
款	災害復旧費
項	災害復旧費
目	農林水産業施設災害復旧費

事業の概要	
【問合せ先】 基盤整備係 0857-30-8317	
【1 2次総の施策体系】 3104	
【事業の経過及び背景】 令和5年台風第7号により農地・農業用施設が被災した。	
【事業の目的及び効果】 農業経営への影響を最小限に留めるため、可能な限り早期に工事を行い、災害からの復旧を図る。	
【事業の内容】 ・補助災害復旧事業 12,075千円	
【事業の実績】	
令和5年度	541,246千円
令和6年度	273,279千円
令和7年度	351,860千円 (見込み)

(単位:千円)

前年度当初予算額	351,860
----------	---------

本年度要求額	12,368
--------	--------

総務部長段階査定額	12,075
-----------	--------

市長段階査定額	12,075
---------	--------

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

区分	本年度予算額
財源内訳	
国・県支出金	2,300
地方債	9,700
その他	0
一般財源	75
計	12,075

備考欄	
-----	--